

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	1	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損傷写真	写真番号	1	径間番号	1	前回損傷程度	d(4)	写真番号	2	径間番号	1	前回損傷程度	d(4)
	部材名	主桁	部材番号	01	メ モ		部材名	主桁	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(4)	主桁側面端部にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(4)	主桁側面端部にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
					・幅 : 0.2mm ・間隔 : - mm ・長さ : 400mm ・パターン4 ・評価区分: 大・小 ※写真番号2の遠景						・幅 : 0.2mm ・間隔 : - mm ・長さ : 400mm ・パターン4 ・評価区分: 大・小 ※写真番号1の近景	
	写真番号	3	径間番号	1	前回損傷程度	d(4)	写真番号	4	径間番号	1	前回損傷程度	e
	部材名	主桁	部材番号	01	メ モ		部材名	主桁	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(4)	主桁側面端部にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	主桁下面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
					・幅 : 0.2mm ・間隔 : - mm ・長さ : 600mm ・パターン4 ・評価区分: 大・小						・長さ : 100mm ・幅 : 50mm ・深さ : 10mm ※写真番号5の遠景	





データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	1	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損傷写真	写真番号	5	径間番号	1	前回損傷程度	e	写真番号	6	径間番号	1	前回損傷程度	e
	部材名	主桁	部材番号	01	メ モ		部材名	主桁	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	主桁下面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	主桁下面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
				・長さ: 100mm ・幅: 50mm ・深さ: 10mm					・長さ: 100mm ・幅: 50mm ・深さ: 10mm			
				※写真番号4の近景					※写真番号7の遠景			
	写真番号	7	径間番号	1	前回損傷程度	e	写真番号	8	径間番号	1	前回損傷程度	d(4)
	部材名	主桁	部材番号	01	メ モ		部材名	主桁	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	主桁下面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(4)	主桁側面端部にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
				・長さ: 100mm ・幅: 50mm ・深さ: 10mm					・幅: 0.3mm ・間隔: - mm ・長さ: 400mm ・パターン4 ・評価区分: 大・小			
				※写真番号6の近景								





データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	1	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損傷写真	写真番号	9	径間番号	1	前回損傷程度	d(4)	写真番号	10	径間番号	1	前回損傷程度	d(4)
	部材名	主桁	部材番号	02	メ モ		部材名	主桁	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(4)	主桁側面端部にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(4)	主桁側面端部にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
				<ul style="list-style-type: none"> ・幅 : 0.3mm ・間隔 : - mm ・長さ : 300mm ・パターン4 ・評価区分: 大・小 		※写真番号10の遠景					<ul style="list-style-type: none"> ・幅 : 0.3mm ・間隔 : - mm ・長さ : 300mm ・パターン4 ・評価区分: 大・小 	
	写真番号	11	径間番号	1	前回損傷程度	d	写真番号	12	径間番号	1	前回損傷程度	d
	部材名	主桁	部材番号	02	メ モ		部材名	主桁	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	主桁下面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	主桁下面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。	
				<ul style="list-style-type: none"> ・長さ : 400mm ・幅 : 50mm ・深さ : 20mm 		※写真番号12の遠景					<ul style="list-style-type: none"> ・長さ : 400mm ・幅 : 50mm ・深さ : 20mm 	


データ記録様式(その10) 損傷写真	径 間 番 号	1	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"			経度		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損傷写真	写真番号	13	径間番号	1	前回損傷程度	d	写真番号	14	径間番号	1	前回損傷程度	d
	部材名	横桁	部材番号	01	メ モ		部材名	横桁	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	横桁上部に鉄筋露出が見られる。鉄筋の腐食は軽微である。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	横桁上部に鉄筋露出が見られる。鉄筋の腐食は軽微である。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
					・長さ: 50mm ・幅: 150mm ・深さ: 5mm ※写真番号14の遠景						・長さ: 50mm ・幅: 150mm ・深さ: 5mm ※写真番号13の近景	
	写真番号	15	径間番号	1	前回損傷程度	e	写真番号	16	径間番号	1	前回損傷程度	e
	部材名	横桁	部材番号	05	メ モ		部材名	横桁	部材番号	05	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	横桁下部に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	横桁下部に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
					・長さ: 50mm ・幅: 50mm ・深さ: 5mm ※写真番号16の遠景						・長さ: 50mm ・幅: 50mm ・深さ: 5mm ※写真番号15の近景	

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	1	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損傷写真	写真番号	17	径間番号	1	前回損傷程度	d	写真番号	18	径間番号	1	前回損傷程度	d
	部材名	床版	部材番号	01	メ モ		部材名	床版	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	床版端部に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より鉄筋の腐食が進行している。 ・長さ: 100mm ・幅: 150mm ・深さ: 10mm 付近に新規損傷の鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。 ・長さ: 100mm ・幅: 100mm ・深さ: 10mm ※写真番号18の遠景		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	床版端部に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より鉄筋の腐食が進行している。 ・長さ: 100mm ・幅: 150mm ・深さ: 10mm ※写真番号17の近景	
												
	写真番号	19	径間番号	1	前回損傷程度	d	写真番号	20	径間番号	1	前回損傷程度	d
	部材名	床版	部材番号	01	メ モ		部材名	床版	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	床版端部に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。 ・長さ: 100mm ・幅: 100mm ・深さ: 10mm 【その他の損傷】 漏水・遊離石灰-d 床版に遊離石灰が生じている。錆汁は見られない。 ※写真番号20の遠景		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	床版端部に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。 ・長さ: 100mm ・幅: 100mm ・深さ: 10mm ※写真番号19の近景	
												

データ記録様式(その10) 損傷写真				径 間 番 号		1		起 点 側		緯 度		35° 29' 12.628"		終 点 側		緯 度		35° 29' 11.018"		橋 梁 ID		35.48684,136.24546	
フリガナ 橋 梁 名		アメノモリハシ 雨之森橋				路 線 名		雨森高野線		管 理 者		長 浜 市				橋 梁 コード		BR0-252034-01036					
備 考																							

損 傷 写 真	写真番号	21	径間番号	1	前回損傷程度	e	写真番号	22	径間番号	1	前回損傷程度	e	
	部材名	床版	部材番号	01	メ モ		部材名	床版	部材番号	01	メ モ		
	損傷の種類	その他	損傷程度	e	床版に農業用資材が置かれている。		損傷の種類	その他	損傷程度	e	床版に農業用資材が置かれている。		
				・分類1:不法占用					・分類1:不法占用				
	写真番号	23	径間番号	1	前回損傷程度	c(16)	写真番号	24	径間番号	1	前回損傷程度	c(16)	
	部材名	PC定着部	部材番号	01	メ モ		部材名	PC定着部	部材番号	01	メ モ		
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(16)	Cr05PC定着部にひびわれ、鉄筋露出が見られる。鉄筋の腐食は軽微である。前回(H30)点検より、ひびわれ幅が拡大している。 ・幅:0.2mm・間隔: - ・長さ:300mm ・パターン16 ・評価区分:大・小 【その他の損傷】 剥離・鉄筋露出-d ・長さ:50mm ・幅:50mm ・深さ:10mm 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン1,3 ※写真番号24,26の遠景、26の上部		損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(16)	Cr05PC定着部にひびわれが見られる。前回(H30)点検より、ひびわれ幅が拡大している。 ・幅: 0.2mm ・間隔: - mm ・長さ: 300mm ・パターン16 ・評価区分:大・小 【その他の損傷】 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン1 ※写真番号23の近景		
													

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	1	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損傷写真	写真番号	25	径間番号	1	前回損傷程度	c(16)	写真番号	26	径間番号	1	前回損傷程度	d
	部材名	PC定着部	部材番号	01	メ モ		部材名	PC定着部	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(16)	【前回(H30)点検時写真】 Cr05 PC定着部		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	Cr05PC定着部に鉄筋露出が見られる。鉄筋の腐食は軽微である。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・長さ: 50mm ・幅: 50mm ・深さ: 10mm 【その他の損傷】 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン3 ※写真番号23の近景	
					ひびわれ-c ・幅: 0.1mm ・間隔: - mm ・長さ: 250mm ・パターン16 ・評価区分: 小・小 ※写真番号23の前回点検写真							
	写真番号	27	径間番号	1	前回損傷程度	d	写真番号	28	径間番号	1	前回損傷程度	d
	部材名	PC定着部	部材番号	01	メ モ		部材名	PC定着部	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	Cr05PC定着部に鋼材(グラウト注入口)の露出が見られる。鋼材の腐食は軽微である。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・長さ: 30mm ・幅: 30mm ・深さ: 0mm ・3箇所 【その他の損傷】 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン3 ※写真番号28の遠景 ※写真番号23の下部		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	Cr05PC定着部に鋼材(グラウト注入口)の露出が見られる。鋼材の腐食は軽微である。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・長さ: 30mm ・幅: 30mm ・深さ: 0mm 【その他の損傷】 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン3 ※写真番号27の近景	
												

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	1	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損傷写真	写真番号	33	径間番号	1	前回損傷程度	d	写真番号	34	径間番号	1	前回損傷程度	a
	部材名	PC定着部	部材番号	02	メ モ		部材名	PC定着部	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	漏水・遊離石灰	損傷程度	d	Cr01PC定着部に遊離石灰が見られる。錆汁はほとんど見られない。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 【その他の損傷】 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン2 ※写真番号32の近景		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	Cr03PC定着部に鋼材(グラウト注入口)の露出が見られる。鋼材の腐食は軽微である。新規損傷である。 ・長さ: 30mm ・幅 : 30mm ・深さ: 0mm ・3箇所 【その他の損傷】 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン3	
												
	写真番号	35	径間番号	1	前回損傷程度	d	写真番号	36	径間番号	1	前回損傷程度	d
	部材名	PC定着部	部材番号	02	メ モ		部材名	PC定着部	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	Cr05PC定着部に鋼材(グラウト注入口)の露出が見られる。鋼材の腐食は軽微である。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・長さ: 30mm ・幅 : 30mm ・深さ: 0mm ・3箇所 【その他の損傷】 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン3 ※写真番号36の遠景		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	Cr05PC定着部に鋼材(グラウト注入口)の露出が見られる。鋼材の腐食は軽微である。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・長さ: 30mm ・幅 : 30mm ・深さ: 0mm ・3箇所 【その他の損傷】 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン3 ※写真番号35の近景	
												

データ記録様式(その10) 損傷写真				径 間 番 号		1		起点側		緯度		35° 29' 12.628"		終点側		緯度		35° 29' 11.018"		橋梁ID		35.48684,136.24546	
フリガナ 橋 梁 名		アメノモリハシ 雨之森橋				路 線 名		雨森高野線				管理者		長浜市				橋梁コード		BR0-252034-01036			
備考																							

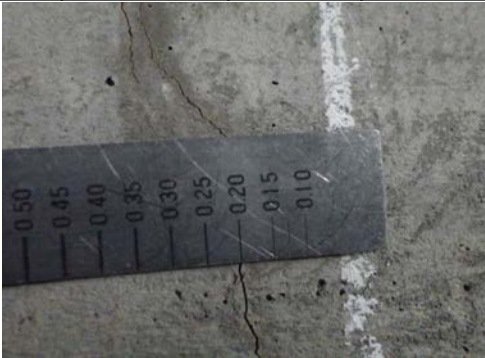



損 傷 写 真	写真番号	37	径間番号	1	前回損傷程度	b(1)	写真番号	38	径間番号	1	前回損傷程度	b(1)
	部材名	下部工	部材番号	01	メ モ		部材名	下部工	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	b(1)	縦壁 A1橋台 縦壁前面に鉛直方向のひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	b(1)	縦壁 A1橋台 縦壁前面にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
					・幅 : 0.1mm ・間隔: - mm ・長さ: 700mm ・パターン1 ・評価区分: 小・小 ※写真番号38の遠景						・幅 : 0.1mm ・間隔: - mm ・長さ: 700mm ・パターン1 ・評価区分: 小・小 ※写真番号37の近景	
	写真番号	39	径間番号	1	前回損傷程度	e	写真番号	40	径間番号	1	前回損傷程度	e
	部材名	下部工	部材番号	01	メ モ		部材名	下部工	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	漏水・滞水	損傷程度	e	縦壁 A1橋台 縦壁前面に伸縮装置からの漏水跡が見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	土砂詰まり	損傷程度	e	縦壁 A1橋台 支承部周辺の橋台に土砂堆積が見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
												

データ記録様式(その10) 損傷写真				径 間 番 号		1		起 点 側		緯 度		35° 29' 12.628"		終 点 側		緯 度		35° 29' 11.018"		橋 梁 ID		35.48684,136.24546	
フリガナ 橋 梁 名		アメノモリハシ 雨之森橋				路 線 名		雨森高野線		管 理 者		長 浜 市				橋 梁 コード		BR0-252034-01036					
備 考																							

損 傷 写 真	写真番号	41	径間番号	1	前回損傷程度	c(2)	写真番号	42	径間番号	1	前回損傷程度	c(2)
	部材名	下部工	部材番号	02	メ モ		部材名	下部工	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	c(2)	柱部・壁部 P1橋脚 終点側柱部に鉛直方向のひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・幅：0.2mm ・間隔：- mm ・長さ：700mm ・パターン2 ・評価区分：中・小 ※写真番号42の遠景		損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	c(2)	柱部・壁部 P1橋脚 終点側柱部に鉛直方向のひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・幅：0.2mm ・間隔：- mm ・長さ：700mm ・パターン2 ・評価区分：中・小 ※写真番号41の近景	
												
	写真番号	43	径間番号	1	前回損傷程度	e	写真番号	44	径間番号	1	前回損傷程度	d(7)
	部材名	下部工	部材番号	02	メ モ		部材名	下部工	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	漏水・滞水	損傷程度	e	柱部・壁部 P1橋脚 縦壁前面に伸縮装置からの漏水跡が見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(7)	梁部 P1橋脚 起点側梁部に鉛直方向のひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・幅：0.2mm ・間隔：400mm ・長さ：900mm ・パターン7 ・評価区分：中・大 ・2箇所 ※写真番号45の遠景	
												

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	1	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損 傷 写 真	写真番号	45	径間番号	1	前回損傷程度	d(7)	写真番号	46	径間番号	1	前回損傷程度	d(7)
	部材名	下部工	部材番号	02	メ モ		部材名	下部工	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(7)	梁部 P1橋脚 起点側梁部に鉛直方向のひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・幅 : 0.2mm ・間隔 : - mm ・長さ : 900mm ・パターン7 ・評価区分 : 中・大 ・2箇所 ※写真番号44の近景		損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(7)	梁部 P1橋脚 終点側梁部に鉛直方向のひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・幅 : 0.2mm ・間隔 : 200mm ・長さ : 250mm、330mm、900mm ・パターン7 ・評価区分 : 中・大 【その他の損傷】 漏水・遊離石灰-d ※写真番号47の遠景	
												
	写真番号	47	径間番号	1	前回損傷程度	d(7)	写真番号	48	径間番号	1	前回損傷程度	e
	部材名	下部工	部材番号	02	メ モ		部材名	下部工	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(7)	梁部 P1橋脚 終点側梁部にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・幅 : 0.2mm ・間隔 : 200mm ・長さ : 330mm ・パターン7 ・評価区分 : 中・大 【その他の損傷】 漏水・遊離石灰-d ※写真番号46の近景		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	梁部 P1橋脚 終点側梁部下面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・長さ : 250mm ・幅 : 250mm ・深さ : 15mm ※写真番号49の遠景	
												

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	1	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損 傷 写 真	写真番号	49	径間番号	1	前回損傷程度	e	写真番号	50	径間番号	1	前回損傷程度	腐食-d
	部材名	下部工	部材番号	02	メ モ		部材名	下部工	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	梁部 P1橋脚 終点側梁部下面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・長さ: 250mm ・幅: 250mm ・深さ: 15mm ※写真番号48の近景		損傷の種類	補修・補強材の損傷	損傷程度	c	梁部 P1橋脚 終点側梁部の補強鋼材に一部板厚減少を伴う腐食が見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 分類1: 鋼板 【その他の損傷】 腐食-d ・評価区分: 大・小 防食機能の劣化-e ・分類1: 塗装 ※写真番号51の遠景	
												
	写真番号	51	径間番号	1	前回損傷程度	腐食-d	写真番号	52	径間番号	1	前回損傷程度	c
	部材名	下部工	部材番号	02	メ モ		部材名	支承本体	部材番号	0101	メ モ	
	損傷の種類	補修・補強材の損傷	損傷程度	c	梁部 P1橋脚 終点側梁部の補強鋼材に一部板厚減少を伴う腐食が見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 分類1: 鋼板 【その他の損傷】 腐食-d ・評価区分: 大・小 防食機能の劣化-e ・分類1: 塗装 ※写真番号50の近景		損傷の種類	腐食	損傷程度	c	支承本体、アンカーボルト全体に腐食が見られる。板厚減少は認められない。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・評価区分: 小・大 【その他の損傷】 防食機能の劣化-e ・分類1: 塗装 ・アンカーボルト0101 腐食-c(小・大) 防食機能の劣化-e,分類1	
												

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	1	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損 傷 写 真	写真番号	53	径間番号	1	前回損傷程度	c	写真番号	54	径間番号	1	前回損傷程度	d
	部材名	支承本体	部材番号	0201	メ モ		部材名	支承本体	部材番号	0102	メ モ	
	損傷の種類	腐食	損傷程度	c	支承本体、アンカーボルト全体に腐食が見られる。板厚減少は認められない。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・評価区分:小・大 【その他の損傷】 防食機能の劣化-e ・分類1:塗装 ・アンカーボルト0201 腐食-c(小・大) 防食機能の劣化-e,分類1		損傷の種類	腐食	損傷程度	c	支承本体、アンカーボルト全体に腐食が見られる。板厚減少は認められない。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・評価区分:小・大 【その他の損傷】 防食機能の劣化-e ・分類1:塗装 ・アンカーボルト0102 腐食-c(小・大) 防食機能の劣化-e,分類1	
												
	写真番号	55	径間番号	1	前回損傷程度	d	写真番号	56	径間番号	1	前回損傷程度	a
	部材名	支承本体	部材番号	0202	メ モ		部材名	沓座モルタル	部材番号	0102	メ モ	
	損傷の種類	腐食	損傷程度	c	支承本体、アンカーボルト全体に腐食が見られる。板厚減少は認められない。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・評価区分:小・大 【その他の損傷】 防食機能の劣化-e ・分類1:塗装 ・アンカーボルト0202 腐食-c(小・大) 防食機能の劣化-e,分類1		損傷の種類	変形・欠損	損傷程度	c	沓座モルタルに欠損が見られる。新規損傷である。 ・長さ: 750mm ・幅: 300mm ・深さ: 120mm	
												

データ記録様式(その10) 損傷写真				径間番号		1		起点側 <table border="1"> <tr> <td>緯度</td> <td>35° 29' 12.628"</td> </tr> <tr> <td>経度</td> <td>136° 14' 43.660"</td> </tr> </table>		緯度	35° 29' 12.628"	経度	136° 14' 43.660"	終点側 <table border="1"> <tr> <td>緯度</td> <td>35° 29' 11.018"</td> </tr> <tr> <td>経度</td> <td>136° 14' 50.579"</td> </tr> </table>		緯度	35° 29' 11.018"	経度	136° 14' 50.579"	橋梁ID		35.48684,136.24546	
緯度	35° 29' 12.628"																						
経度	136° 14' 43.660"																						
緯度	35° 29' 11.018"																						
経度	136° 14' 50.579"																						
フリガナ 橋梁名		アメノモリハシ 雨之森橋		路線名		雨森高野線		管理者		長浜市		橋梁コード		BR0-252034-01036									
備考																							


損傷写真	写真番号	57	径間番号	1	前回損傷程度	ひびわれ-e	写真番号	58	径間番号	1	前回損傷程度	ひびわれ-e
	部材名	沓座モルタル	部材番号	0202	メモ		部材名	沓座モルタル	部材番号	0202	メモ	
	損傷の種類	うき	損傷程度	e	沓座モルタルにうきが見られる。前回(H30)点検ではひびわれ-eであった箇所がうきに進展している。 ・長さ: 750mm ・幅: 300mm ・深さ: 120mm		損傷の種類	うき	損傷程度	e	【前回(H30)点検時写真】 ひびわれ-e ・幅: 0.3mm ・間隔: 100mm ・長さ: 150mm ・評価区分: 大・大 ・4箇所 ※写真番号57の前回点検写真	
												
	写真番号	59	径間番号	1	前回損傷程度	e	写真番号	60	径間番号	1	前回損傷程度	e
	部材名	舗装	部材番号	01	メモ		部材名	舗装	部材番号	01	メモ	
	損傷の種類	路面の凹凸	損傷程度	a	前回(H30)点検で生じていた路面の凹凸は補修されている。 ※補修済		損傷の種類	路面の凹凸	損傷程度	a	【前回(H30)点検時写真】 路面の凹凸-e ・高さ: 30mm ※写真番号59の前回点検写真	
												

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	1	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							



損傷写真	写真番号	61	径間番号	1	前回損傷程度	d	写真番号	62	径間番号	1	前回損傷程度	d
	部材名	防護柵	部材番号	01	メ モ		部材名	防護柵	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d	防護柵にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d	防護柵にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
					・幅 : 1.0mm ・間隔 : - mm ・長さ : 400mm ・評価区分 : 大・小 ※写真番号62の遠景						・幅 : 1.0mm ・間隔 : - mm ・長さ : 400mm ・評価区分 : 大・小 ※写真番号61の近景	
	写真番号	63	径間番号	1	前回損傷程度	d	写真番号	64	径間番号	1	前回損傷程度	d
	部材名	防護柵	部材番号	01	メ モ		部材名	防護柵	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	防護柵に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	防護柵に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。	
					・長さ : 400mm ・幅 : 100mm ・深さ : 50mm 【他の損傷】 変形・欠損-c ※写真番号64の遠景						・長さ : 400mm ・幅 : 100mm ・深さ : 50mm 【他の損傷】 変形・欠損-c ※写真番号63の近景	

データ記録様式(その10) 損傷写真				径 間 番 号		1		起点側		緯度		35° 29' 12.628"		終点側		緯度		35° 29' 11.018"		橋梁ID		35.48684,136.24546	
フリガナ 橋 梁 名		アメノモリハシ 雨之森橋				路 線 名		雨森高野線		管理者		長浜市				橋梁コード		BR0-252034-01036					
備考																							

損 傷 写 真	写真番号	65	径間番号	1	前回損傷程度	c	写真番号	66	径間番号	1	前回損傷程度	c
	部材名	防護柵	部材番号	01	メ モ		部材名	防護柵	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	変形・欠損	損傷程度	c	防護柵に剥離、欠損が見られる。鉄筋の露出は見られない。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	変形・欠損	損傷程度	c	防護柵に剥離、欠損が見られる。鉄筋の露出は見られない。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
				・長さ: 100mm ・幅: 20mm ・深さ: 30mm 【その他の損傷】 剥離・鉄筋露出-c ※写真番号66の遠景					・長さ: 100mm ・幅: 20mm ・深さ: 30mm 【その他の損傷】 剥離・鉄筋露出-c ※写真番号65の近景			
	写真番号	67	径間番号	1	前回損傷程度	e	写真番号	68	径間番号	1	前回損傷程度	d
	部材名	防護柵	部材番号	01	メ モ		部材名	防護柵	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	うき	損傷程度	e	防護柵にうきが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d	防護柵にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
				・長さ: 100mm ・幅: 500mm					・幅: 0.6mm ・間隔: - mm ・長さ: 400mm ・評価区分: 大・小 ※写真番号69の遠景			





データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	1	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損 傷 写 真	写真番号	69	径間番号	1	前回損傷程度	d	写真番号	70	径間番号	1	前回損傷程度	e
	部材名	防護柵	部材番号	02	メ モ		部材名	防護柵	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d	防護柵にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・幅：0.6mm ・間隔：－mm ・長さ：400mm ・評価区分：大・小 ※写真番号68の近景		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	防護柵に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。 ・長さ：100mm ・幅：10mm ・深さ：0mm ※写真番号71の遠景	
												
	写真番号	71	径間番号	1	前回損傷程度	e	写真番号	72	径間番号	1	前回損傷程度	e
	部材名	防護柵	部材番号	02	メ モ		部材名	防護柵	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	防護柵に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。 ・長さ：100mm ・幅：10mm ・深さ：0mm ※写真番号70の近景		損傷の種類	その他	損傷程度	e	防護柵に植生が見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・分類6: その他(植生)	
												

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	1	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							




損 傷 写 真	写真番号	73	径間番号	1	前回損傷程度	c	写真番号	74	径間番号	1	前回損傷程度	c
	部材名	防護柵	部材番号	03	メ モ		部材名	防護柵	部材番号	03	メ モ	
	損傷の種類	変形・欠損	損傷程度	c	防護柵(親柱)に剥離、欠損が見られる。鉄筋の露出は見られない。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	変形・欠損	損傷程度	c	防護柵(親柱)に剥離、欠損が見られる。鉄筋の露出は見られない。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
				・長さ: 100mm ・幅: 100mm ・深さ: 50mm 【その他の損傷】 剥離・鉄筋露出-c ※写真番号74の遠景					・長さ: 100mm ・幅: 100mm ・深さ: 50mm 【その他の損傷】 剥離・鉄筋露出-c ※写真番号73の近景			
	写真番号	75	径間番号	1	前回損傷程度	c	写真番号	76	径間番号	1	前回損傷程度	c
	部材名	地覆	部材番号	01	メ モ		部材名	地覆	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	変形・欠損	損傷程度	c	防護柵に剥離、欠損が見られる。鉄筋の露出は見られない。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	変形・欠損	損傷程度	c	防護柵に剥離、欠損が見られる。鉄筋の露出は見られない。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
				・長さ: 50mm ・幅: 150mm ・深さ: 30mm 【その他の損傷】 剥離・鉄筋露出-c ※写真番号76の遠景					・長さ: 50mm ・幅: 150mm ・深さ: 30mm 【その他の損傷】 剥離・鉄筋露出-c ※写真番号75の近景			

データ記録様式(その10) 損傷写真				径間番号		1		起点側 <table border="1"> <tr> <td>緯度</td> <td>35° 29' 12.628"</td> </tr> <tr> <td>経度</td> <td>136° 14' 43.660"</td> </tr> </table>		緯度	35° 29' 12.628"	経度	136° 14' 43.660"	終点側 <table border="1"> <tr> <td>緯度</td> <td>35° 29' 11.018"</td> </tr> <tr> <td>経度</td> <td>136° 14' 50.579"</td> </tr> </table>		緯度	35° 29' 11.018"	経度	136° 14' 50.579"	橋梁ID		35.48684,136.24546	
緯度	35° 29' 12.628"																						
経度	136° 14' 43.660"																						
緯度	35° 29' 11.018"																						
経度	136° 14' 50.579"																						
フリガナ 橋梁名		アメノモリハシ 雨之森橋		路線名		雨森高野線		管理者		長浜市		橋梁コード		BR0-252034-01036									
備考																							

損 傷 写 真	写真番号	77	径間番号	1	前回損傷程度	ひびわれ-e	写真番号	78	径間番号	1	前回損傷程度	ひびわれ-e
	部材名	伸縮装置	部材番号	01	メ モ		部材名	伸縮装置	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	その他	損傷程度	e	伸縮装置の後打ちコンクリートにひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。損傷種類を変更した。		損傷の種類	その他	損傷程度	e	伸縮装置の後打ちコンクリートにひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。損傷種類を変更した。	
				<ul style="list-style-type: none"> ・分類6: その他(後打ちコンクリートのひびわれ) ・幅: 5.0mm、1.5mm、3.0mm ・間隔: 50mm、400mm ・長さ: 250mm、100mm、150mm 					<ul style="list-style-type: none"> ・分類6: その他(後打ちコンクリートのひびわれ) ・幅: 5.0mm、1.5mm、3.0mm ・間隔: 50mm、400mm ・長さ: 250mm、100mm、150mm 			
				※写真番号78の遠景					※写真番号77の近景			
	写真番号	79	径間番号	1	前回損傷程度	c	写真番号	80	径間番号	1	前回損傷程度	e
	部材名	伸縮装置	部材番号	02	メ モ		部材名	伸縮装置	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	その他	損傷程度	a	伸縮装置の目地部の脱落は、アスファルト舗装により補修されている。		損傷の種類	その他	損傷程度	a	【前回(H30)点検時写真】	
			※補修済					その他4-e ・目地の脱落				
								※写真番号79の前回点検写真				

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	1	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							





損傷写真	写真番号	81	径間番号	1	前回損傷程度	c	写真番号	82	径間番号	1	前回損傷程度	d
	部材名	排水ます	部材番号	01	メ モ		部材名	排水管	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	腐食	損傷程度	c	排水ます全体に腐食が見られる。板厚減少は認められない。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・評価区分:小・大 【その他の損傷】 防食機能の劣化-e ・分類1:塗装		損傷の種類	腐食	損傷程度	e	排水管全体に板厚減少を伴う腐食が見られ、腐食孔が生じている。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・評価区分:大・大 【その他の損傷】 防食機能の劣化-e ・分類1:塗装	
												
	写真番号	83	径間番号	1	前回損傷程度	d	写真番号		径間番号		前回損傷程度	
	部材名	排水管	部材番号	02	メ モ		部材名		部材番号		メ モ	
	損傷の種類	腐食	損傷程度	e	【前回(H30)点検時写真】		損傷の種類		損傷程度			
					腐食-d ・評価区分:大・大 【その他の損傷】 防食機能の劣化-e ・分類1:塗装 ※写真番号82の前回点検写真							

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	2	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							




損傷写真	写真番号	84	径間番号	2	前回損傷程度	d(4)	写真番号	85	径間番号	2	前回損傷程度	d(4)
	部材名	主桁	部材番号	01	メ モ		部材名	主桁	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(4)	主桁側面端部にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(4)	主桁側面端部にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
					・幅 : 0.3mm ・間隔 : - mm ・長さ : 500mm ・パターン4 ・評価区分: 大・小						・幅 : 0.3mm ・間隔 : - mm ・長さ : 500mm ・パターン4 ・評価区分: 大・小	
	写真番号	86	径間番号	2	前回損傷程度	d(4)	写真番号	87	径間番号	2	前回損傷程度	d(4)
	部材名	主桁	部材番号	01	メ モ		部材名	主桁	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(4)	主桁側面端部にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(4)	主桁側面端部にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
					・幅 : 0.3mm ・間隔 : - mm ・長さ : 600mm ・パターン4 ・評価区分: 大・小						・幅 : 0.3、0.25mm ・間隔 : 500mm ・長さ : 630、330mm ・パターン4 ・評価区分: 大・小 ※写真番号88の遠景	

データ記録様式(その10) 損傷写真				径間番号		2		起点側 <table border="1"> <tr> <td>緯度</td> <td>35° 29' 12.628"</td> </tr> <tr> <td>経度</td> <td>136° 14' 43.660"</td> </tr> </table>		緯度	35° 29' 12.628"	経度	136° 14' 43.660"	終点側 <table border="1"> <tr> <td>緯度</td> <td>35° 29' 11.018"</td> </tr> <tr> <td>経度</td> <td>136° 14' 50.579"</td> </tr> </table>		緯度	35° 29' 11.018"	経度	136° 14' 50.579"	橋梁ID	35.48684,136.24546
緯度	35° 29' 12.628"																				
経度	136° 14' 43.660"																				
緯度	35° 29' 11.018"																				
経度	136° 14' 50.579"																				
フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋			路線名	雨森高野線			管理者	長浜市			橋梁コード	BR0-252034-01036								
備考																					

損 傷 写 真	写真番号	88	径間番号	2	前回損傷程度	d(4)	写真番号	89	径間番号	2	前回損傷程度	d
	部材名	主桁	部材番号	01	メ モ		部材名	主桁	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(4)	主桁側面端部にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	主桁側面に鉄筋露出が見られる。鉄筋の腐食は軽微である。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
				<ul style="list-style-type: none"> ・幅：0.3、0.25mm ・間隔：500mm ・長さ：630、330mm ・パターン4 ・評価区分：大・小 					<ul style="list-style-type: none"> ・長さ：50mm ・幅：50mm ・深さ：15mm 			
	※写真番号87の近景											
	写真番号	90	径間番号	2	前回損傷程度	c	写真番号	91	径間番号	2	前回損傷程度	c
	部材名	主桁	部材番号	01	メ モ		部材名	主桁	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	c	主桁下フランジ隅角部に局所的な欠損が見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	c	主桁下フランジ隅角部に局所的な欠損が見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
			<ul style="list-style-type: none"> ・長さ：50mm ・幅：100mm ・深さ：10mm 		【その他の損傷】 変形・欠損-c					<ul style="list-style-type: none"> ・長さ：50mm ・幅：100mm ・深さ：10mm 		
※写真番号91の遠景						※写真番号90の近景						




データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	2	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損傷写真	写真番号	96	径間番号	2	前回損傷程度	d(24)	写真番号	97	径間番号	2	前回損傷程度	d(24)
	部材名	横桁	部材番号	01	メ モ		部材名	横桁	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(24)	横桁にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(24)	横桁にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
					・幅 : 0.5mm ・間隔 : - mm ・長さ : 1200mm ・パターン24 ・評価区分:大・小 ※写真番号97の遠景						・幅 : 0.5mm ・間隔 : - mm ・長さ : 1200mm ・パターン24 ・評価区分:大・小 ※写真番号96の近景	
	写真番号	98	径間番号	2	前回損傷程度	d	写真番号	99	径間番号	2	前回損傷程度	d
	部材名	横桁	部材番号	01	メ モ		部材名	横桁	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	横桁上部に鉄筋露出が見られる。鉄筋の腐食は軽微である。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	横桁上部に鉄筋露出が見られる。鉄筋の腐食は軽微である。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
					・長さ : 100mm ・幅 : 100mm ・深さ : 10mm ※写真番号99の遠景						・長さ : 100mm ・幅 : 100mm ・深さ : 10mm ※写真番号98の近景	





データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	2	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損傷写真	写真番号	100	径間番号	2	前回損傷程度	d(24)	写真番号	101	径間番号	2	前回損傷程度	d(24)
	部材名	横桁	部材番号	05	メ モ		部材名	横桁	部材番号	05	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(24)	横桁にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(24)	横桁にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
				<ul style="list-style-type: none"> ・幅 : 0.4mm ・間隔 : - mm ・長さ : 1200mm ・パターン24 ・評価区分: 大・小 		※写真番号101の遠景				<ul style="list-style-type: none"> ・幅 : 0.4mm ・間隔 : - mm ・長さ : 1200mm ・パターン24 ・評価区分: 大・小 		※写真番号100の近景
	写真番号	102	径間番号	2	前回損傷程度	d	写真番号	103	径間番号	2	前回損傷程度	a
	部材名	床版	部材番号	01	メ モ		部材名	床版	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	床版端部に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	床版端部に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。新規損傷である。	
				<ul style="list-style-type: none"> ・長さ: 100mm ・幅: 50mm ・深さ: 5mm ・3箇所 						<ul style="list-style-type: none"> ・長さ: 100mm ・幅: 250mm ・深さ: 0mm 		

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	2	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損傷写真	写真番号	104	径間番号	2	前回損傷程度	d	写真番号	105	径間番号	2	前回損傷程度	d
	部材名	床版	部材番号	01	メ モ		部材名	床版	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	漏水・遊離石灰	損傷程度	d	間詰コンクリートに漏水・遊離石灰が見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	漏水・遊離石灰	損傷程度	d	張出し床版排水施設周辺に漏水・遊離石灰が見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
												
	写真番号	106	径間番号	2	前回損傷程度	d	写真番号	107	径間番号	2	前回損傷程度	d
	部材名	床版	部材番号	01	メ モ		部材名	PC定着部	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	床版ひびわれ	損傷程度	d(2)	中間床版に床版ひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・幅 : 0.3、0.2、0.3mm ・間隔: 100、100mm ・長さ: 500、150、1000mm ・パターン2		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	Cr01PC定着部に鋼材(グラウト注入口)の露出が見られる。鋼材の腐食は軽微である。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・長さ: 30mm ・幅 : 30mm ・深さ: 0mm ・4箇所 【その他の損傷】 定着部の異常-c ・分類2: PC鋼材横締め ・パターン3 ※写真番号108の遠景	
												

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	2	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損傷写真	写真番号	108	径間番号	2	前回損傷程度	d	写真番号	109	径間番号	2	前回損傷程度	d
	部材名	PC定着部	部材番号	01	メ モ		部材名	PC定着部	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	Cr01PC定着部に鋼材(グラウト注入口)の露出が見られる。鋼材の腐食は軽微である。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・長さ: 30mm ・幅: 30mm ・深さ: 0mm ・4箇所 【その他の損傷】 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン3 ※写真番号107の近景		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	Cr05PC定着部に鋼材(グラウト注入口)の露出が見られる。鋼材の腐食は軽微である。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・長さ: 30mm ・幅: 30mm ・深さ: 0mm ・4箇所 【その他の損傷】 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン3 ※写真番号110の遠景	
												
	写真番号	110	径間番号	2	前回損傷程度	d	写真番号	111	径間番号	2	前回損傷程度	d
	部材名	PC定着部	部材番号	01	メ モ		部材名	PC定着部	部材番号	02	d	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	Cr05PC定着部に鋼材(グラウト注入口)の露出が見られる。鋼材の腐食は軽微である。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・長さ: 30mm ・幅: 30mm ・深さ: 0mm ・4箇所 【その他の損傷】 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン3 ※写真番号109の近景		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	Cr01PC定着部に鋼材(グラウト注入口、PCより線)の露出が見られる。鋼材の腐食は軽微である。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・長さ: 30mm ・幅: 30mm ・深さ: 0mm ・4箇所 【その他の損傷】 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン3	
												

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	2	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損傷写真	写真番号	112	径間番号	2	前回損傷程度	d	写真番号	113	径間番号	2	前回損傷程度	d
	部材名	PC定着部	部材番号	02	メ モ		部材名	PC定着部	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	Cr05PC定着部に鋼材(グラウト注入口)の露出が見られる。鋼材の腐食は軽微である。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・長さ: 30mm ・幅: 30mm ・深さ: 0mm ・4箇所 【その他の損傷】 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン3 ※写真番号113の遠景		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	Cr05PC定着部に鋼材(グラウト注入口、PCより線)の露出が見られる。鋼材の腐食は軽微である。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・長さ: 30mm ・幅: 30mm ・深さ: 0mm ・4箇所 【その他の損傷】 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン3 ※写真番号112の近景	
												
	写真番号	114	径間番号	2	前回損傷程度	c(7)	写真番号	115	径間番号	2	前回損傷程度	b(7)
	部材名	下部工	部材番号	02	メ モ		部材名	下部工	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	c(7)	梁部 P2橋脚 梁部中央にひびわれが見られる。 前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・幅: 0.1mm ・間隔: 150mm ・長さ: 500mm ・パターン7 ・評価区分: 小・大		損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	b(7)	梁部 P2橋脚 終点側梁部にひびわれが見られる。 前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・幅: 0.1mm ・間隔: - mm ・長さ: 400mm ・パターン7 ・評価区分: 小・小 【その他の損傷】 漏水・遊離石灰-e その他-e 分類6:その他(穴)	
												

データ記録様式(その10) 損傷写真					径 間 番 号		2		起 点 側		緯 度		35° 29' 12.628"		終 点 側		緯 度		35° 29' 11.018"		橋 梁 ID		35.48684,136.24546	
フリガナ 橋 梁 名		アメノモリハシ 雨之森橋			路 線 名		雨森高野線			管 理 者		長 浜 市				橋 梁 コー ド		BR0-252034-01036						
備 考																								

損 傷 写 真	写真番号	120	径間番号	2	前回損傷程度	c	写真番号	121	径間番号	2	前回損傷程度	腐食-d
	部材名	下部工	部材番号	02	メ モ		部材名	支承本体	部材番号	0101	メ モ	
	損傷の種類	補修・補強材の損傷	損傷程度	c	梁部 P2橋脚 起点側梁部の補強鋼材に板厚減少を伴う腐食が見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 分類1: 鋼板 【その他の損傷】 腐食-c ・評価区分: 小・大 防食機能の劣化-e ・分類1: 塗装		損傷の種類	支承部の機能障害	損傷程度	e(1)	支承部にアンカーボルトの破断、沈下等がみられる。前回(H30)点検より損傷が進展している。 分類1: 支承、アンカーボルト パターン: 1、5、6 【その他の損傷】 腐食-e ・評価区分: 大・大 防食機能の劣化-e ・分類1: 塗装 破断-e(アンカーボルト) 沈下・移動・傾斜-e(支承本体) ※写真番号122,123の全景	
												
	写真番号	122	径間番号	2	前回損傷程度	腐食-d	写真番号	123	径間番号	2	前回損傷程度	腐食-d
	部材名	支承本体	部材番号	0101	メ モ		部材名	支承本体	部材番号	0101	メ モ	
	損傷の種類	支承部の機能障害	損傷程度	e(1)	前回(H30)点検より損傷が進展している。 分類1: 支承、アンカーボルト パターン1: 沓座モルタルの欠落 5: アンカーボルトの破断 6: 支承のずれ 【その他の損傷】 腐食 腐食-e ・評価区分: 大・大 防食機能の劣化-e ・分類1: 塗装 破断-e(アンカーボルト) 沈下・移動・傾斜-e(支承本体) ※写真番号121の近景		損傷の種類	支承部の機能障害	損傷程度	e(1)	前回(H30)点検より損傷が進展している。 分類1: 支承、アンカーボルト パターン1: 沓座モルタルの欠落 5: アンカーボルトの破断 6: 支承のずれ 【その他の損傷】 腐食-e ・評価区分: 大・大 防食機能の劣化-e ・分類1: 塗装 破断-e(アンカーボルト) ※写真番号121の近景	
												

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	2	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損 傷 写 真	写真番号	124	径間番号	2	前回損傷程度	腐食-d	写真番号	125	径間番号	2	前回損傷程度	腐食-d
	部材名	支承本体	部材番号	0201	メ モ		部材名	支承本体	部材番号	0201	メ モ	
	損傷の種類	支承部の機能障害	損傷程度	e(1)	支承部にアンカーボルトの破断、沈下等がみられる。前回(H30)点検より損傷が進展している。 分類1: 支承、アンカーボルト パターン1: 沓座モルタルの欠落 5: アンカーボルトの破断 6: 支承のずれ 【その他の損傷】 腐食-e ・評価区分: 大・大 防食機能の劣化-e ・分類1: 塗装 破断-e(アンカーボルト) 沈下・移動・傾斜-e(支承本体) ※写真番号125,126,127の全景		損傷の種類	支承部の機能障害	損傷程度	e(1)	前回(H30)点検より損傷が進展している。 分類1: 支承、アンカーボルト パターン1: 沓座モルタルの欠落 5: アンカーボルトの破断 6: 支承のずれ 【その他の損傷】 腐食-e ・評価区分: 大・大 防食機能の劣化-e ・分類1: 塗装 破断-e(アンカーボルト) 沈下・移動・傾斜-e(支承本体) ※写真番号124の近景	
												
	写真番号	126	径間番号	2	前回損傷程度	腐食-d	写真番号	127	径間番号	2	前回損傷程度	腐食-d
	部材名	支承本体	部材番号	0201	メ モ		部材名	支承本体	部材番号	0201	メ モ	
	損傷の種類	支承部の機能障害	損傷程度	e(1)	前回(H30)点検より損傷が進展している。 分類1: 支承、アンカーボルト パターン1: 沓座モルタルの欠落 5: アンカーボルトの破断 6: 支承のずれ 【その他の損傷】 腐食-e ・評価区分: 大・大 防食機能の劣化-e ・分類1: 塗装 破断-e(アンカーボルト) ※写真番号124の近景		損傷の種類	支承部の機能障害	損傷程度	e(1)	前回(H30)点検より損傷が進展している。 分類1: 支承、アンカーボルト パターン1: 沓座モルタルの欠落 5: アンカーボルトの破断 6: 支承のずれ 【その他の損傷】 腐食-e ・評価区分: 大・大 防食機能の劣化-e ・分類1: 塗装 破断-e(アンカーボルト) 沈下・移動・傾斜-e(支承本体) ※写真番号124の近景	
												

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	2	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損 傷 写 真	写真番号	128	径間番号	2	前回損傷程度	d	写真番号	129	径間番号	2	前回損傷程度	d
	部材名	支承本体	部材番号	0102	メ モ		部材名	支承本体	部材番号	0102	メ モ	
	損傷の種類	腐食	損傷程度	c	支承本体、アンカーボルト全体に腐食が見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・評価区分:小・大 【その他の損傷】 防食機能の劣化-e ・分類1:塗装 ※写真番号129の外側		損傷の種類	腐食	損傷程度	c	支承本体、アンカーボルト全体に腐食が見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・評価区分:小・大 【その他の損傷】 防食機能の劣化-e ・分類1:塗装 ※写真番号128の内側	
												
	写真番号	130	径間番号	2	前回損傷程度	d	写真番号	131	径間番号	2	前回損傷程度	d
	部材名	支承本体	部材番号	0202	メ モ		部材名	支承本体	部材番号	0202	メ モ	
	損傷の種類	腐食	損傷程度	c	支承本体、アンカーボルト全体に腐食が見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・評価区分:小・大 【その他の損傷】 防食機能の劣化-e ・分類1:塗装 ※写真番号131の外側		損傷の種類	腐食	損傷程度	c	支承本体、アンカーボルト全体に腐食が見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・評価区分:小・大 【その他の損傷】 防食機能の劣化-e ・分類1:塗装 ※写真番号130の内側	
												

データ記録様式(その10) 損傷写真				径間番号		2		起点側 <table border="1"> <tr> <td>緯度</td> <td>35° 29' 12.628"</td> </tr> <tr> <td>経度</td> <td>136° 14' 43.660"</td> </tr> </table>		緯度	35° 29' 12.628"	経度	136° 14' 43.660"	終点側 <table border="1"> <tr> <td>緯度</td> <td>35° 29' 11.018"</td> </tr> <tr> <td>経度</td> <td>136° 14' 50.579"</td> </tr> </table>		緯度	35° 29' 11.018"	経度	136° 14' 50.579"	橋梁ID		35.48684,136.24546	
緯度	35° 29' 12.628"																						
経度	136° 14' 43.660"																						
緯度	35° 29' 11.018"																						
経度	136° 14' 50.579"																						
フリガナ 橋梁名		アメノモリハシ 雨之森橋		路線名		雨森高野線		管理者		長浜市		橋梁コード		BR0-252034-01036									
備考																							





損 傷 写 真	写真番号	132	径間番号	2	前回損傷程度	c	写真番号	133	径間番号	2	前回損傷程度	c
	部材名	沓座モルタル	部材番号	0101	メ モ		部材名	沓座モルタル	部材番号	0101	メ モ	
	損傷の種類	変形・欠損	損傷程度	e	沓座モルタルの全体的な欠損。 前回(H30)点検時からの進行が見られる。		損傷の種類	変形・欠損	損傷程度	e	沓座モルタルの全体的な欠損。 前回(H30)点検時からの進行が見られる。	
					※写真番号133の別アングル ※前回点検時、写真なし						【その他の損傷】 剥離・鉄筋露出-e ※写真番号132の別アングル ※前回点検時、写真なし	
	写真番号	134	径間番号	2	前回損傷程度	c	写真番号	135	径間番号	2	前回損傷程度	c
	部材名	沓座モルタル	部材番号	0201	メ モ		部材名	沓座モルタル	部材番号	0201	メ モ	
	損傷の種類	変形・欠損	損傷程度	e	沓座モルタルの全体的な欠損。 前回(H30)点検時からの進行が見られる。		損傷の種類	変形・欠損	損傷程度	e	【前回(H30)点検時写真】 変形・欠損-c	
					【その他の損傷】 剥離・鉄筋露出-e						※写真番号134の前回点検写真	

データ記録様式(その10) 損傷写真					径 間 番 号		2		起点側		緯度 35° 29' 12.628"		終点側		緯度 35° 29' 11.018"		橋梁ID		35.48684,136.24546	
フリガナ 橋 梁 名		アメノモリハシ 雨之森橋			路 線 名		雨森高野線			管理者		長浜市			橋梁コード			BR0-252034-01036		
備考																				

損 傷 写 真	写真番号	136	径間番号	2	前回損傷程度	c	写真番号	137	径間番号	2	前回損傷程度	a
	部材名	支承本体	部材番号	0201	メ モ		部材名	舗装	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	変形・欠損	損傷程度	e	【前回(H30)点検時写真】		損傷の種類	路面の凹凸	損傷程度	a	橋面上段差すり付け補修済。 前回(H30)点検時は異常なし。 点検後に生じた損傷と思われる。 ※補修済	
				変形・欠損-c					※前回点検時、写真なし			
				※写真番号134の前回点検写真								
	写真番号	138	径間番号	2	前回損傷程度	d	写真番号	139	径間番号	2	前回損傷程度	d
	部材名	防護柵	部材番号	01	メ モ		部材名	防護柵	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d	防護柵にひびわれが見られる。 前回(H30)点検より損傷の進展 は見られない。 ・幅：0.4mm ・間隔：－mm ・長さ：400mm ・評価区分：大・小		損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d	防護柵にひびわれが見られ る。 前回(H30)点検より損傷 の進展は見られない。 ・幅：0.4mm ・間隔：－mm ・長さ：400mm ・評価区分：大・小	
			※写真番号139の遠景					※写真番号138の近景				

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	2	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損 傷 写 真	写真番号	140	径間番号	2	前回損傷程度	d	写真番号	141	径間番号	2	前回損傷程度	d
	部材名	防護柵	部材番号	01	メ モ		部材名	防護柵	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	防護柵支柱外面に鉄筋露出が見られる。鉄筋の腐食は軽微である。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	防護柵支柱外面に鉄筋露出が見られる。鉄筋の腐食は軽微である。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
					<ul style="list-style-type: none"> ・長さ: 50mm ・幅: 50mm ・深さ: 10mm 				<ul style="list-style-type: none"> ・長さ: 50mm ・幅: 50mm ・深さ: 10mm 		※写真番号140の近景	
	写真番号	142	径間番号	2	前回損傷程度	d	写真番号	143	径間番号	2	前回損傷程度	d
	部材名	防護柵	部材番号	01	メ モ		部材名	防護柵	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	防護柵支柱外面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	防護柵に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。	
					<ul style="list-style-type: none"> ・長さ: 400mm ・幅: 200mm ・深さ: 20mm 				<ul style="list-style-type: none"> ・長さ: 400mm ・幅: 200mm ・深さ: 20mm 		【他の損傷】 変形・欠損-c	
					※写真番号143の遠景						※写真番号142の近景	

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	2	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損 傷 写 真	写真番号	144	径間番号	2	前回損傷程度	d	写真番号	145	径間番号	2	前回損傷程度	e
	部材名	防護柵	部材番号	01	メ モ		部材名	防護柵	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	防護柵支柱外面に鉄筋露出が見られる。鉄筋の腐食は軽微である。前回(H30)点検より損傷が進展している。 ・長さ: 400mm ・幅 : 200mm ・深さ: 50mm 【他の損傷】 変形・欠損-c		損傷の種類	その他	損傷程度	e	防護柵横棧と柱に隙間が見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・分類6: その他(隙間) ・隙間: 20mm ※写真番号146の遠景	
												
	写真番号	146	径間番号	2	前回損傷程度	e	写真番号	147	径間番号	2	前回損傷程度	d
	部材名	防護柵	部材番号	01	メ モ		部材名	防護柵	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	その他	損傷程度	e	防護柵横棧と柱に隙間が見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・分類6: その他(隙間) ・隙間: 20mm ※写真番号145の近景		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	防護柵笠木下面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。 ・長さ: 50mm ・幅 : 50mm ・深さ: 0mm ・他1箇所 ※写真番号148の遠景	
												

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	2	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損 傷 写 真	写真番号	148	径間番号	2	前回損傷程度	d	写真番号	149	径間番号	2	前回損傷程度	d
	部材名	防護柵	部材番号	02	メ モ		部材名	防護柵	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	防護柵笠木下面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。 ・長さ: 50mm ・幅: 50mm ・深さ: 0mm ・他1箇所 ※写真番号147の遠景		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	防護柵支柱外面に鉄筋露出が見られる。鉄筋の腐食は軽微である。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・長さ: 50mm ・幅: 100mm ・深さ: 0mm ・他2箇所	
												
	写真番号	150	径間番号	2	前回損傷程度	d	写真番号	151	径間番号	2	前回損傷程度	e
	部材名	防護柵	部材番号	02	メ モ		部材名	防護柵	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	防護柵支柱外面に鉄筋露出が見られる。鉄筋の腐食は軽微である。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・長さ: 50mm ・幅: 100mm ・深さ: 0mm ・他2箇所		損傷の種類	その他	損傷程度	e	下流側防護柵に苔が群生している。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・分類6: その他(植生)	
												

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	2	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損 傷 写 真	写真番号	152	径間番号	2	前回損傷程度	ひびわれ-d	写真番号	153	径間番号	2	前回損傷程度	ひびわれ-d
	部材名	伸縮装置	部材番号	02	メ モ		部材名	伸縮装置	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	その他	損傷程度	e	伸縮装置の後打ちコンクリートにひびわれ、欠損が見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。損傷種類を変更した。		損傷の種類	その他	損傷程度	e	伸縮装置の後打ちコンクリートにひびわれ、欠損が見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。損傷種類を変更した。	
				・分類6:その他(後打ちコンクリートのひびわれ) ・幅: 0.5mm ・間隔: — ・長さ: 100mm ※写真番号153の遠景					・分類6:その他(後打ちコンクリートのひびわれ) ・幅: 0.5mm ・間隔: — ・長さ: 100mm ※写真番号152の近景			
	写真番号	154	径間番号	2	前回損傷程度	c	写真番号	155	径間番号	2	前回損傷程度	c
	部材名	伸縮装置	部材番号	02	メ モ		部材名	排水ます	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	変形・欠損	損傷程度	c	伸縮装置の後打ちコンクリートにひびわれ、欠損が見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	腐食	損傷程度	c	排水ます全体に腐食が見られる。板厚減少は認められない。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
				・長さ: 600mm ・幅: 100mm ・深さ: 10mm ※写真番号152の近景					・評価区分: 小・大 【その他の損傷】 防食機能の劣化-e ・分類1: 塗装 ※写真番号156の遠景			





データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	2	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損 傷 写 真	写真番号	156	径間番号	2	前回損傷程度	c	写真番号	157	径間番号	2	前回損傷程度	c
	部材名	排水ます	部材番号	01	メ モ		部材名	排水管	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	腐食	損傷程度	c	排水ます全体に腐食が見られる。板厚減少は認められない。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・評価区分:小・大 【その他の損傷】 防食機能の劣化-e ・分類1:塗装 ※写真番号155の近景		損傷の種類	腐食	損傷程度	c	排水管全体に腐食が見られる。板厚減少は認められない。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・評価区分:小・大 【その他の損傷】 防食機能の劣化-e ・分類1:塗装	
												
	写真番号	158	径間番号	2	前回損傷程度	d	写真番号	159	径間番号	2	前回損傷程度	d
	部材名	排水管	部材番号	02	メ モ		部材名	排水管	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	腐食	損傷程度	d	排水管全体に板厚減少を伴う腐食が部分的に見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・評価区分:大・小 【その他の損傷】 防食機能の劣化-e ・分類1:塗装 ※写真番号159の遠景		損傷の種類	腐食	損傷程度	d	排水管全体に板厚減少を伴う腐食が部分的に見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・評価区分:大・小 【その他の損傷】 防食機能の劣化-e ・分類1:塗装 ※写真番号158の近景	
												

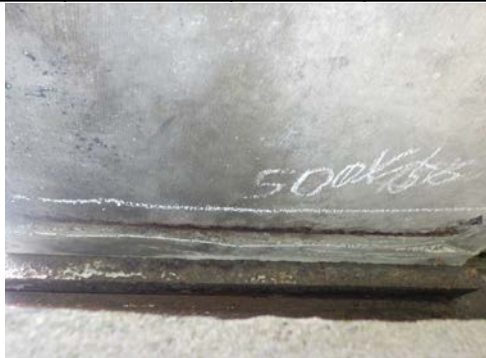



データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	3	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損 傷 写 真	写真番号	160	径間番号	3	前回損傷程度	d	写真番号	161	径間番号	3	前回損傷程度	d
	部材名	主桁	部材番号	01	メ モ		部材名	主桁	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	主桁側面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。 ・長さ: 150mm ・幅: 650mm ・深さ: 15mm ※写真番号161の遠景		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	主桁側面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。 ・長さ: 150mm ・幅: 650mm ・深さ: 15mm ※写真番号160の近景	
												
	写真番号	162	径間番号	3	前回損傷程度	a	写真番号	163	径間番号	3	前回損傷程度	a
	部材名	主桁	部材番号	01	メ モ		部材名	主桁	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	主桁下面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。新規損傷である。 ・長さ: 300mm ・幅: 50mm ・深さ: 10mm ・9箇所 ※写真番号163の遠景		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	主桁下面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。新規損傷である。 ・長さ: 300mm ・幅: 50mm ・深さ: 10mm ・9箇所 ※写真番号162の近景	
												


データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	3	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損傷写真	写真番号	164	径間番号	3	前回損傷程度	d	写真番号	165	径間番号	3	前回損傷程度	d
	部材名	主桁	部材番号	01	メ モ		部材名	主桁	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	主桁下面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。 ・長さ: 500mm ・幅: 50mm ・深さ: 0mm ※写真番号165の遠景		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	主桁下面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。 ・長さ: 500mm ・幅: 50mm ・深さ: 0mm ※写真番号164の近景	
												
	写真番号	166	径間番号	3	前回損傷程度	d(21)	写真番号	167	径間番号	3	前回損傷程度	d
	部材名	主桁	部材番号	02	メ モ		部材名	主桁	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(21)	主桁側面端部にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・幅: 0.2mm ・間隔: - mm ・長さ: 400mm ・パターン21 ・評価区分: 大・小		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	主桁側面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。 ・長さ: 50mm ・幅: 100mm ・深さ: 10mm	
												

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	3	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損 傷 写 真	写真番号	168	径間番号	3	前回損傷程度	c	写真番号	169	径間番号	3	前回損傷程度	c
	部材名	主桁	部材番号	02	メ モ		部材名	主桁	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	c	主桁側面に欠損が見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・長さ: 50mm ・幅: 150mm ・深さ: 15mm 【その他の損傷】 変形・欠損-c ※写真番号169の遠景		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	c	主桁側面に欠損が見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・長さ: 50mm ・幅: 150mm ・深さ: 15mm 【その他の損傷】 変形・欠損-c ※写真番号168の近景	
												
	写真番号	170	径間番号	3	前回損傷程度	d(24)	写真番号	171	径間番号	3	前回損傷程度	d(24)
	部材名	横桁	部材番号	01	メ モ		部材名	横桁	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(24)	横桁にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・幅: 0.2mm ・間隔: - mm ・長さ: 1200mm、800mm ・パターン24 ・評価区分: 大・小 【その他の損傷】 剥離・鉄筋露出-e 50×100×10 ※写真番号171の遠景		損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(24)	横桁にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・幅: 0.2mm ・間隔: - mm ・長さ: 1200mm、800mm ・パターン24 ・評価区分: 大・小 ※写真番号170の近景	
												



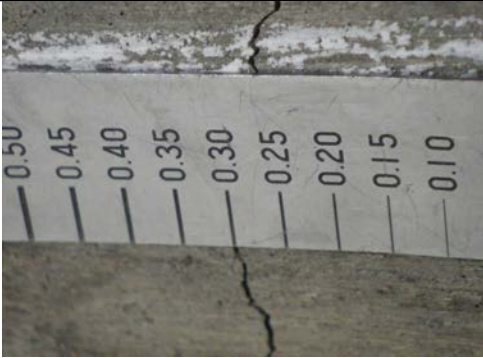

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	3	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							



損 傷 写 真	写真番号	172	径間番号	3	前回損傷程度	d	写真番号	173	径間番号	3	前回損傷程度	d
	部材名	床版	部材番号	01	メ モ		部材名	床版	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	床版に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。 ・長さ: 100mm、50mm ・幅 : 100mm、50mm ・深さ: 10mm、10mm ※写真番号173の遠景		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	床版に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。 ・長さ: 100mm、50mm ・幅 : 100mm、50mm ・深さ: 10mm、0mm ※写真番号172の近景	
												
	写真番号	174	径間番号	3	前回損傷程度	d	写真番号	175	径間番号	3	前回損傷程度	d
	部材名	床版	部材番号	01	メ モ		部材名	床版	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	漏水・遊離石灰	損傷程度	d	張出し床版排水施設周辺に漏水・遊離石灰が見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	床版ひびわれ	損傷程度	d(1)	中間床版に床版ひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・幅 : 0.3、0.1mm ・間隔: 200mm ・長さ: 2100mm、150mm ・パターン1 ※写真番号176の遠景	
												

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	3	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損傷写真	写真番号	176	径間番号	3	前回損傷程度	d	写真番号	177	径間番号	3	前回損傷程度	d
	部材名	床版	部材番号	01	メ モ		部材名	床版	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	床版ひびわれ	損傷程度	d(1)	中間床版に床版ひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	床版ひびわれ	損傷程度	d(1)	中間床版に床版ひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
					<ul style="list-style-type: none"> ・幅 : 0.3、0.1mm ・間隔 : 200mm ・長さ : 2100mm, 150mm ・パターン1 				<ul style="list-style-type: none"> ・幅 : 0.3mm ・間隔 : -mm ・長さ : 300mm ・パターン1 		【その他の損傷】 その他-e 分類6:その他(木材残置)	
					※写真番号175の近景						※写真番号178の遠景	
	写真番号	178	径間番号	3	前回損傷程度	d	写真番号	179	径間番号	3	前回損傷程度	d(16)
	部材名	床版	部材番号	01	メ モ		部材名	PC定着部	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	床版ひびわれ	損傷程度	d(1)	中間床版に床版ひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(16)	Cr05PC定着部にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
					<ul style="list-style-type: none"> ・幅 : 0.3mm ・間隔 : -mm ・長さ : 300mm ・パターン1 				<ul style="list-style-type: none"> ・幅 : 0.2mm ・間隔 : - mm ・長さ : 300mm ・パターン16 ・評価区分:大・小 		【その他の損傷】 剥離・鉄筋露出-d 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン1,3 ※写真番号180の遠景	
					※写真番号177の近景							

データ記録様式(その10) 損傷写真				径 間 番 号		3		起点側		緯度 35° 29' 12.628"		終点側		緯度 35° 29' 11.018"		橋梁ID		35.48684,136.24546		
フリガナ 橋 梁 名		アメノモリハシ 雨之森橋				路 線 名		雨森高野線			管理者		長浜市			橋梁コード		BR0-252034-01036		
備考																				

損 傷 写 真	写真番号	180	径間番号	3	前回損傷程度	e	写真番号	181	径間番号	3	前回損傷程度	d	
	部材名	PC定着部	部材番号	01	メ モ		部材名	PC定着部	部材番号	01	メ モ		
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	Cr05PC定着部に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・長さ: 80mm ・幅 : 50mm ・深さ: 5mm ・2箇所 【その他の損傷】 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン3 ※写真番号179の近景			損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	Cr05PC定着部に鋼材(グラウト注入口)の露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。 ・長さ: 30mm ・幅 : 30mm ・深さ: 0mm ・4箇所 【その他の損傷】 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン3 ※写真番号182の遠景	
													
	写真番号	182	径間番号	3	前回損傷程度	d	写真番号	183	径間番号	3	前回損傷程度	d	
	部材名	PC定着部	部材番号	01	メ モ		部材名	PC定着部	部材番号	01	メ モ		
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	Cr05PC定着部に鋼材(グラウト注入口)の露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。 ・長さ: 30mm ・幅 : 30mm ・深さ: 0mm ・4箇所 【その他の損傷】 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン3 ※写真番号181の近景			損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	Cr01PC定着部に鋼材(グラウト注入口)の露出が見られる。鋼材の腐食は軽微である。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・長さ: 30mm ・幅 : 30mm ・深さ: 0mm ・2箇所 【その他の損傷】 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン3 ※写真番号184の遠景	
													

データ記録様式(その10) 損傷写真			径間番号	3	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
						経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損 傷 写 真	写真番号	184	径間番号	3	前回損傷程度	d	写真番号	185	径間番号	3	前回損傷程度	d(16)
	部材名	PC定着部	部材番号	01	メ モ		部材名	PC定着部	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	Cr01PC定着部に鋼材(グラウト注入口)の露出が見られる。鋼材の腐食は軽微である。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・長さ: 30mm ・幅: 30mm ・深さ: 0mm ・2箇所 【その他の損傷】 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン3 ※写真番号183の近景		損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(16)	Cr05PC定着部にひびわれが見られる。前回(H30)点検より、ひびわれ幅が拡大している。 ・幅: 0.2mm ・間隔: - mm ・長さ: 100mm ・パターン16 ・評価区分: 大・小 【その他の損傷】 剥離・鉄筋露出-d 30×30×0(4箇所) 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン1,3	
												
	写真番号	186	径間番号	3	前回損傷程度	d	写真番号	187	径間番号	3	前回損傷程度	d
	部材名	PC定着部	部材番号	02	メ モ		部材名	PC定着部	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	Cr01PC定着部に鋼材(グラウト注入口)の露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。 ・長さ: 30mm ・幅: 30mm ・深さ: 0mm 【その他の損傷】 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン3 ※写真番号187の遠景		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	Cr01PC定着部に鋼材(グラウト注入口)の露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。 ・長さ: 30mm ・幅: 30mm ・深さ: 0mm 【その他の損傷】 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン3 ※写真番号186の近景	
												

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	3	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							





損 傷 写 真	写真番号	188	径間番号	3	前回損傷程度	e(7)	写真番号	189	径間番号	3	前回損傷程度	e(7)
	部材名	下部工	部材番号	02	メ モ		部材名	下部工	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	e(7)	梁部 P3橋脚 梁部中央に鉛直方向のひびわれが見られる。 前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	e(7)	梁部 P3橋脚 梁部中央に鉛直方向のひびわれが見られる。 前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
				・幅 : 0.4mm ・間隔: 400mm ・長さ: 1200mm ・パターン7 ・評価区分: 大・大 ・3箇所 ※写真番号189の遠景					・幅 : 0.4mm ・間隔: 400mm ・長さ: 1200mm ・パターン7 ・評価区分: 大・大 ・3箇所 ※写真番号188の近景			
	写真番号	190	径間番号	3	前回損傷程度	c(7)	写真番号	191	径間番号	3	前回損傷程度	c
	部材名	下部工	部材番号	02	メ モ		部材名	下部工	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	c(7)	梁部 P3橋脚 梁部中央にひびわれが見られる。 前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	補修・補強材の損傷	損傷程度	c	梁部 P3橋脚 起点側梁部の補強鋼材に板厚減少を伴う腐食が見られる。 前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
			・幅 : 0.2mm ・間隔: 600mm ・長さ: 400mm ・パターン7 ・評価区分: 中・小 ・2箇所					分類1: 鋼板 【その他の損傷】 腐食-c ・評価区分: 小・大 防食機能の劣化-e ・分類1: 塗装 ※写真番号192の遠景				

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	3	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損傷写真	写真番号	192	径間番号	3	前回損傷程度	c	写真番号	193	径間番号	3	前回損傷程度	d
	部材名	下部工	部材番号	02	メ モ		部材名	支承本体	部材番号	0101	メ モ	
	損傷の種類	補修・補強材の損傷	損傷程度	c	梁部 P3橋脚 起点側梁部の補強鋼材に板厚減少を伴う腐食が見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 分類1:鋼板 【その他の損傷】 腐食-c ・評価区分:小・大 防食機能の劣化-e ・分類1:塗装 ※写真番号191の近景		損傷の種類	腐食	損傷程度	c	支承本体、アンカーボルト全体に腐食が見られる。局所的な板厚減少は認められる。前回(H30)点検ではd判定だったが、板厚減少が認められなかった為、c判定とした。 ・評価区分:小・大 【その他の損傷】 防食機能の劣化-e ・分類1:塗装 ・アンカーボルト0101 腐食-d(大・小) 防食機能の劣化-e,分類1	
												
	写真番号	194	径間番号	3	前回損傷程度	d	写真番号	195	径間番号	3	前回損傷程度	d
	部材名	支承本体	部材番号	0201	メ モ		部材名	支承本体	部材番号	0102	メ モ	
	損傷の種類	腐食	損傷程度	c	支承本体、アンカーボルト全体に腐食が見られる。局所的な板厚減少は認められる。前回(H30)点検ではd判定だったが、板厚減少が認められなかった為、c判定とした。 ・評価区分:小・大 【その他の損傷】 防食機能の劣化-e ・分類1:塗装 ・アンカーボルト0101 腐食-d(大・小) 防食機能の劣化-e,分類1		損傷の種類	腐食	損傷程度	c	支承本体、アンカーボルト全体に腐食が見られる。局所的な板厚減少は認められる。前回(H30)点検ではd判定だったが、板厚減少が認められなかった為、c判定とした。 ・評価区分:小・大 【その他の損傷】 防食機能の劣化-e ・分類1:塗装 ・アンカーボルト0101 腐食-d(大・小) 防食機能の劣化-e,分類1	
												

データ記録様式(その10) 損傷写真				径 間 番 号		3		起点側		緯度 35° 29' 12.628"		終点側		緯度 35° 29' 11.018"		橋梁ID		35.48684,136.24546		
フリガナ 橋 梁 名		アメノモリハシ 雨之森橋				路 線 名		雨森高野線			管理者		長浜市			橋梁コード		BR0-252034-01036		
備考																				

損 傷 写 真	写真番号	200		径間番号	3		前回損傷程度	d		写真番号	201		径間番号	3		前回損傷程度	d	
	部材名	防護柵		部材番号	01		メ モ		部材名	防護柵		部材番号	01		メ モ			
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出		損傷程度	d		防護柵笠木下部に鉄筋露出が見られる。鉄筋の腐食は軽微である。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・長さ: 100mm ・幅 : 50mm ・深さ: 10mm ・2箇所 ※写真番号201の遠景		損傷の種類	剥離・鉄筋露出		損傷程度	d		防護柵笠木下部に鉄筋露出が見られる。鉄筋の腐食は軽微である。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・長さ: 100mm ・幅 : 50mm ・深さ: 10mm ・2箇所 ※写真番号200の近景			
																		
	写真番号	202		径間番号	3		前回損傷程度	d		写真番号	203		径間番号	3		前回損傷程度	d	
	部材名	防護柵		部材番号	01		メ モ		部材名	防護柵		部材番号	01		メ モ			
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出		損傷程度	d		防護柵支柱外面に鉄筋露出が見られる。鉄筋の腐食は軽微である。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・長さ: 50mm、80mm ・幅 : 100mm、150mm ・深さ: 10mm、0mm ※写真番号203の遠景		損傷の種類	剥離・鉄筋露出		損傷程度	d		防護柵支柱外面に鉄筋露出が見られる。鉄筋の腐食は軽微である。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・長さ: 50mm、80mm ・幅 : 100mm、150mm ・深さ: 10mm、0mm ※写真番号202の近景			
																		

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	3	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							




損 傷 写 真	写真番号	204	径間番号	3	前回損傷程度	d	写真番号	205	径間番号	3	前回損傷程度	d
	部材名	防護柵	部材番号	01	メ モ		部材名	防護柵	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	防護柵支柱外面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。 ・長さ: 300mm ・幅: 150mm ・深さ: 50mm 【他の損傷】 変形・欠損-c ※写真番号205の遠景		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	防護柵支柱外面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。 ・長さ: 300mm ・幅: 150mm ・深さ: 50mm 【他の損傷】 変形・欠損-c ※写真番号204の近景	
												
	写真番号	206	径間番号	3	前回損傷程度	d	写真番号	207	径間番号	3	前回損傷程度	d
	部材名	防護柵	部材番号	02	メ モ		部材名	防護柵	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d	防護柵にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・幅: 0.6mm ・間隔: - mm ・長さ: 400mm ・評価区分: 大・小 ※写真番号207の遠景		損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d	防護柵にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・幅: 0.6mm ・間隔: - mm ・長さ: 400mm ・評価区分: 大・小 ※写真番号206の近景	
												

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	3	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損 傷 写 真	写真番号	208	径間番号	3	前回損傷程度	d	写真番号	209	径間番号	3	前回損傷程度	d
	部材名	防護柵	部材番号	02	メ モ		部材名	防護柵	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d	防護柵にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d	防護柵にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
					<ul style="list-style-type: none"> ・幅 : 0.5mm ・間隔 : - mm ・長さ : 400mm ・評価区分 : 大・小 						<ul style="list-style-type: none"> ・幅 : 0.5mm ・間隔 : - mm ・長さ : 400mm ・評価区分 : 大・小 	
					※写真番号209の遠景						※写真番号208の近景	
	写真番号	210	径間番号	3	前回損傷程度	d	写真番号	211	径間番号	3	前回損傷程度	d
	部材名	防護柵	部材番号	02	メ モ		部材名	防護柵	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	防護柵支柱外面に鉄筋露出が見られる。鉄筋の腐食は軽微である。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	防護柵支柱外面に鉄筋露出が見られる。鉄筋の腐食は軽微である。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
					<ul style="list-style-type: none"> ・長さ : 50mm ・幅 : 100mm ・深さ : 10mm 						<ul style="list-style-type: none"> ・長さ : 50mm ・幅 : 100mm ・深さ : 10mm 	
					・3箇所						・3箇所	
					※写真番号211の遠景						※写真番号210の近景	

データ記録様式(その10) 損傷写真				径 間 番 号		3		起 点 側		緯 度		35° 29' 12.628"		終 点 側		緯 度		35° 29' 11.018"		橋 梁 ID		35.48684,136.24546	
フリガナ 橋 梁 名		アメノモリハシ 雨之森橋				路 線 名		雨森高野線		管 理 者		長 浜 市				橋 梁 コー ド		BR0-252034-01036					
備 考																							

損 傷 写 真	写真番号	212	径間番号	3	前回損傷程度	e	写真番号	213	径間番号	3	前回損傷程度	e
	部材名	地覆	部材番号	01	メ モ		部材名	地覆	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	地覆下部に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・長さ: 50mm ・幅: 50mm ・深さ: 10mm ※写真番号213の遠景		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	地覆下部に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・長さ: 50mm ・幅: 50mm ・深さ: 10mm ※写真番号212の近景	
												
	写真番号	214	径間番号	3	前回損傷程度	e	写真番号	215	径間番号	3	前回損傷程度	b
	部材名	地覆	部材番号	01	メ モ		部材名	伸縮装置	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	うき	損傷程度	e	地覆上部にうきが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・長さ: 200mm ・幅: 100mm		損傷の種類	腐食	損傷程度	b	伸縮装置に局所的な腐食が見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・評価区分: 小・小 【その他の損傷】 防食機能の劣化-e ・分類1: 塗装 ※写真番号216の遠景	
												

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	3	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		


フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損 傷 写 真	写真番号	216	径間番号	3	前回損傷程度	b	写真番号	217	径間番号	3	前回損傷程度	b
	部材名	伸縮装置	部材番号	02	メ モ		部材名	排水ます	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	腐食	損傷程度	b	伸縮装置に局所的な腐食が見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・評価区分:大・小 【その他の損傷】 防食機能の劣化-e ・分類1:塗装 ※写真番号215の近景		損傷の種類	腐食	損傷程度	b	排水ます全体に腐食が見られる。板厚減少は認められない。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・評価区分:小・小 【その他の損傷】 防食機能の劣化-e ・分類1:塗装 ※写真番号218の遠景	
												
	写真番号	218	径間番号	3	前回損傷程度	b	写真番号	219	径間番号	3	前回損傷程度	d
	部材名	排水ます	部材番号	01	メ モ		部材名	排水管	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	腐食	損傷程度	b	排水ます全体に腐食が見られる。板厚減少は認められない。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・評価区分:小・小 【その他の損傷】 防食機能の劣化-e ・分類1:塗装 ※写真番号217の近景		損傷の種類	腐食	損傷程度	d	排水管に局所的な板厚減少を伴う腐食が見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・評価区分:大・小 【その他の損傷】 防食機能の劣化-e ・分類1:塗装	
												



データ記録様式(その10) 損傷写真				径 間 番 号		4		起点側		緯度		35° 29′ 12.628″		終点側		緯度		35° 29′ 11.018″		橋梁ID		35.48684,136.24546	
フリガナ 橋 梁 名		アメノモリハシ 雨之森橋				路 線 名		雨森高野線				管理者		長浜市				橋梁コード		BR0-252034-01036			
備考																							

損 傷 写 真	写真番号	220	径間番号	4	前回損傷程度	d	写真番号	221	径間番号	4	前回損傷程度	d
	部材名	主桁	部材番号	01	メ モ		部材名	主桁	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	主桁下面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。 ・長さ: 500mm ・幅: 300mm ・深さ: 20mm ※写真番号221の遠景		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	主桁下面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。 ・長さ: 500mm ・幅: 300mm ・深さ: 20mm ※写真番号220の近景	
												
	写真番号	222	径間番号	4	前回損傷程度	d	写真番号	223	径間番号	4	前回損傷程度	d
	部材名	主桁	部材番号	01	メ モ		部材名	主桁	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	主桁下面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。 ・長さ: 200mm、150mm ・幅: 100mm、100mm ・深さ: 0mm、5mm ※写真番号223の遠景		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	主桁下面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。 ・長さ: 200mm、150mm ・幅: 100mm、100mm ・深さ: 0mm、5mm ※写真番号222の近景	
												

データ記録様式(その10) 損傷写真				径 間 番 号		4		起 点 側		緯 度		35° 29' 12.628"		終 点 側		緯 度		35° 29' 11.018"		橋 梁 ID		35.48684,136.24546	
フリガナ 橋 梁 名		アメノモリハシ 雨之森橋				路 線 名		雨森高野線				管 理 者		長 浜 市				橋 梁 コード		BR0-252034-01036			
備 考																							





損 傷 写 真	写真番号	224		径間番号	4		前回損傷程度	d		写真番号	225		径間番号	4		前回損傷程度	d	
	部材名	主桁		部材番号	01		メ モ		部材名	主桁		部材番号	01		メ モ			
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出		損傷程度	e		主桁下面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。 ・長さ: 350mm ・幅: 550mm ・深さ: 15mm ※写真番号225の遠景		損傷の種類	剥離・鉄筋露出		損傷程度	e		主桁下面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。 ・長さ: 350mm ・幅: 550mm ・深さ: 15mm ※写真番号224の近景			
																		
	写真番号	226		径間番号	4		前回損傷程度	d		写真番号	227		径間番号	4		前回損傷程度	d	
	部材名	主桁		部材番号	01		メ モ		部材名	主桁		部材番号	01		メ モ			
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出		損傷程度	e		主桁下面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。 ・長さ: 400mm、350mm、 ・幅: 100mm、150mm、 ・深さ: 5mm、5mm、 ・長さ: 150mm、300mm ・幅: 100mm、200mm ・深さ: 5mm、5mm ※写真番号227の遠景		損傷の種類	剥離・鉄筋露出		損傷程度	e		主桁下面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。 ・長さ: 400mm ・幅: 100mm ・深さ: 5mm ※写真番号226の近景			
																		

データ記録様式(その10) 損傷写真				径間番号		4		起点側 <table border="1"> <tr> <td>緯度</td> <td>35° 29' 12.628"</td> </tr> <tr> <td>経度</td> <td>136° 14' 43.660"</td> </tr> </table>		緯度	35° 29' 12.628"	経度	136° 14' 43.660"	終点側 <table border="1"> <tr> <td>緯度</td> <td>35° 29' 11.018"</td> </tr> <tr> <td>経度</td> <td>136° 14' 50.579"</td> </tr> </table>		緯度	35° 29' 11.018"	経度	136° 14' 50.579"	橋梁ID	35.48684,136.24546
緯度	35° 29' 12.628"																				
経度	136° 14' 43.660"																				
緯度	35° 29' 11.018"																				
経度	136° 14' 50.579"																				
フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋			路線名	雨森高野線			管理者	長浜市			橋梁コード	BR0-252034-01036								
備考																					

損傷写真	写真番号	228	径間番号	4	前回損傷程度	d	写真番号	229	径間番号	4	前回損傷程度	d
	部材名	主桁	部材番号	02	メ モ		部材名	主桁	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	主桁下面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	主桁下面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。	
			<ul style="list-style-type: none"> ・長さ: 400mm ・幅: 300mm ・深さ: 5mm ・2箇所 				<ul style="list-style-type: none"> ・長さ: 400mm ・幅: 300mm ・深さ: 5mm ・2箇所 					
			※写真番号229の遠景				※写真番号228の近景					
	写真番号	230	径間番号	4	前回損傷程度	a	写真番号	231	径間番号	4	前回損傷程度	d
	部材名	横桁	部材番号	01	メ モ		部材名	床版	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類		損傷程度	a	損傷なし		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	張出し床版に鉄筋露出が見られる。鋼材の腐食は軽微である。前回(H30)点検より損傷が進展している。	
		Cr01～05						<ul style="list-style-type: none"> ・長さ: 250mm ・幅: 200mm ・深さ: 10mm 				
								※写真番号232の遠景				



データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	4	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損傷写真	写真番号	232	径間番号	4	前回損傷程度	d	写真番号	233	径間番号	4	前回損傷程度	d
	部材名	床版	部材番号	01	メ モ		部材名	床版	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	張出し床版に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	張出し床版に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。	
				<ul style="list-style-type: none"> ・長さ: 250mm ・幅: 200mm ・深さ: 10mm 					<ul style="list-style-type: none"> ・長さ: 80mm ・幅: 80mm ・深さ: 0mm ・2箇所 			
				※写真番号231の近景								
	写真番号	234	径間番号	4	前回損傷程度	d	写真番号	235	径間番号	4	前回損傷程度	d
	部材名	床版	部材番号	01	メ モ		部材名	床版	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	張出し床版に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。		損傷の種類	漏水・遊離石灰	損傷程度	d	張出し床版排水施設周辺に漏水・遊離石灰が見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
				<ul style="list-style-type: none"> ・長さ: 200mm ・幅: 100mm ・深さ: 0mm 								

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	4	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損 傷 写 真	写真番号	236	径間番号	4	前回損傷程度	d	写真番号	237	径間番号	4	前回損傷程度	d
	部材名	床版	部材番号	01	メ モ		部材名	床版	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	漏水・遊離石灰	損傷程度	d	中間床版に遊離石灰が見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	漏水・遊離石灰	損傷程度	d	中間床版に遊離石灰が見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
					【その他の損傷】 床版ひびわれ-d ・幅：0.3mm ・間隔：-mm ・長さ：1600mm ・パターン1						※写真番号236の近景	
	写真番号	238	径間番号	4	前回損傷程度	c	写真番号	239	径間番号	4	前回損傷程度	a
	部材名	床版	部材番号	01	メ モ		部材名	PC定着部	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	床版ひびわれ	損傷程度	c	中間床版に床版ひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(16)	Cr05PC定着部にひびわれが見られる。新規損傷である。	
					・幅：0.2mm、0.2mm、 ・間隔：-mm、-mm、 ・長さ：600mm、600mm ・パターン1						・幅：0.3mm ・間隔：-mm ・長さ：350mm ・パターン16 ・評価区分：大・小 【その他の損傷】 剥離・鉄筋露出-d 150×70×5 定着部の異常-c ・分類2：PC鋼材横締め ・パターン1、3 ※写真番号240の遠景 ※写真番号241の上部	





データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	4	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損傷写真	写真番号	240	径間番号	4	前回損傷程度	a	写真番号	241	径間番号	4	前回損傷程度	d
	部材名	PC定着部	部材番号	01	メ モ		部材名	PC定着部	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(16)	Cr05PC定着部にひびわれが見られる。前回(H30)点検では同部材の上部は損傷なし。 ・幅 : 0.3mm ・間隔 : - mm ・長さ : 350mm ・パターン16 ・評価区分 : 大・小 【その他の損傷】 剥離・鉄筋露出-d 150×70×5 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン1、3 ※写真番号239の近景		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	Cr05PC定着部に鋼材(グラウト注入口)の露出が見られる。鋼材の腐食は軽微である。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・長さ: 30mm ・幅 : 30mm ・深さ: 0mm 【その他の損傷】 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン3 ※写真番号242の遠景 ※写真番号239の下部	
												
	写真番号	242	径間番号	4	前回損傷程度	d	写真番号	243	径間番号	4	前回損傷程度	a
	部材名	PC定着部	部材番号	01	メ モ		部材名	PC定着部	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	Cr05PC定着部に鋼材(グラウト注入口)の露出が見られる。鋼材の腐食は軽微である。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・長さ: 30mm ・幅 : 30mm ・深さ: 0mm 【その他の損傷】 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン3 ※写真番号241の近景		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	Cr01PC定着部に鋼材(グラウト注入口)の露出が見られる。鋼材の腐食は軽微である。新規損傷である。 ・長さ: 30mm ・幅 : 30mm ・深さ: 0mm 4箇所 【その他の損傷】 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン3 ※写真番号244の遠景	
												

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	4	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							




損 傷 写 真	写真番号	244	径間番号	4	前回損傷程度	a	写真番号	245	径間番号	4	前回損傷程度	d(16)
	部材名	PC定着部	部材番号	01	メ モ		部材名	PC定着部	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	Cr01PC定着部に鋼材(グラウト 注入口)の露出が見られる。鋼 材の腐食は軽微である。新規損 傷である。 ・長さ: 30mm ・幅 : 30mm ・深さ: 0mm 【その他の損傷】 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン3 ※写真番号243の近景		損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(16)	Cr01PC定着部にひびわれが見ら れる。前回(H30)点検より、ひびわ れ幅が拡大している。 ・幅 : 0.2mm ・間隔: - mm ・長さ: 300mm ・パターン16 ・評価区分:大・小 【その他の損傷】 剥離・鉄筋露出-d 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン1、3 ※写真番号246の遠景	
												
	写真番号	246	径間番号	4	前回損傷程度	d(16)	写真番号	247	径間番号	4	前回損傷程度	d
	部材名	PC定着部	部材番号	02	メ モ		部材名	PC定着部	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(16)	Cr01PC定着部にひびわれが見 られる。前回(H30)点検より、ひ びわれ幅が拡大している。 ・幅 : 0.2mm ・間隔: - mm ・長さ: 300mm ・パターン16 ・評価区分:大・小 【その他の損傷】 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン1、3 ※写真番号245の近景		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	Cr01PC定着部に鋼材(グラウト 注入口)の露出が見られる。 鋼材の腐食は軽微である。前 回(H30)点検より損傷の進展 は見られない。 ・長さ: 50mm ・幅 : 50mm ・深さ: 0mm 【その他の損傷】 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン3 ※写真番号245の近景	
												

データ記録様式(その10) 損傷写真				径 間 番 号		4		起 点 側		緯 度		35° 29′ 12.628″		終 点 側		緯 度		35° 29′ 11.018″		橋 梁 ID		35.48684,136.24546	
フリガナ 橋 梁 名		アメノモリハシ 雨之森橋				路 線 名		雨森高野線		管 理 者		長 浜 市				橋 梁 コード		BR0-252034-01036					
備 考																							

損 傷 写 真	写真番号	248	径間番号	4	前回損傷程度	c(7)	写真番号	249	径間番号	4	前回損傷程度	d(7)
	部材名	下部工	部材番号	02	メ モ		部材名	下部工	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	c(7)	梁部 P4橋脚 梁部中央にひびわれが見られる。 前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(7)	梁部 P4橋脚 梁部中央にひびわれが見られる。 前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
				・幅 : 0.2mm ・間隔: -mm ・長さ: 1200mm ・パターン7 ・評価区分: 中・小 ・他1箇所					・幅 : 0.3mm ・間隔: -mm ・長さ: 500mm ・パターン7 ・評価区分: 大・小		※写真番号250の遠景	
	写真番号	250	径間番号	4	前回損傷程度	d(7)	写真番号	251	径間番号	4	前回損傷程度	d
	部材名	下部工	部材番号	02	メ モ		部材名	下部工	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(7)	梁部 P4橋脚 梁部中央にひびわれが見られる。 前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	梁部 P4橋脚 梁部左下面に鉄筋露出が見られる。 鉄筋は著しく腐食している。新規損傷である。	
			・幅 : 0.3mm ・間隔: -mm ・長さ: 500mm ・パターン7 ・評価区分: 大・小		※写真番号249の近景					・長さ: 400mm ・幅 : 250mm ・深さ: 50mm		

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	4	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損 傷 写 真	写真番号	252	径間番号	4	前回損傷程度	d	写真番号	253	径間番号	4	前回損傷程度	d
	部材名	下部工	部材番号	02	メ モ		部材名	下部工	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	梁部 P4橋脚 梁部左下面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	梁部 P4橋脚 梁部左下面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。	
				・長さ: 500、150、150、600mm ・幅 : 100、 50、 50、 50mm ・深さ: 5、 0、 0、 0mm					・長さ: 500mm ・幅 : 100mm ・深さ: 5mm			
				※写真番号253の遠景					※写真番号252の近景			
	写真番号	254	径間番号	4	前回損傷程度	e	写真番号	255	径間番号	4	前回損傷程度	e
	部材名	下部工	部材番号	02	メ モ		部材名	下部工	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	梁部 P4橋脚 梁部左下面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	梁部 P4橋脚 梁部左下面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
			・長さ: 200mm ・幅 : 100mm ・深さ: 5mm					・長さ: 200mm ・幅 : 100mm ・深さ: 5mm				
			※写真番号255の遠景					※写真番号254の近景				

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	4	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損 傷 写 真	写真番号	256	径間番号	4	前回損傷程度	c	写真番号	257	径間番号	4	前回損傷程度	c
	部材名	下部工	部材番号	02	メ モ		部材名	下部工	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	腐食	損傷程度	c	梁部 P4橋脚 起点側梁部の補強鋼材に腐食が見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	腐食	損傷程度	c	梁部 P4橋脚 起点側梁部の補強鋼材に腐食が見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
					分類1: 鋼板 【その他の損傷】 腐食-c ・評価区分: 中・小 防食機能の劣化-e ・分類1: 塗装 ※写真番号257の遠景						分類1: 鋼板 【その他の損傷】 腐食-c ・評価区分: 中・小 防食機能の劣化-e ・分類1: 塗装 ※写真番号256の近景	
	写真番号	258	径間番号	4	前回損傷程度	d	写真番号	259	径間番号	4	前回損傷程度	d
	部材名	支承本体	部材番号	0101	メ モ		部材名	支承本体	部材番号	0201	メ モ	
	損傷の種類	腐食	損傷程度	c	支承本体、アンカーボルト全体に腐食が見られる。前回(H30)点検ではd判定だったが、板厚減少が認められなかった為、c判定とした。		損傷の種類	腐食	損傷程度	c	支承本体、アンカーボルト全体に腐食が見られる。前回(H30)点検ではd判定だったが、板厚減少が認められなかった為、c判定とした。	
					・評価区分: 小・大 【その他の損傷】 防食機能の劣化-e ・分類1: 塗装 ・アンカーボルト0101 腐食-c(小・小) 防食機能の劣化-e,分類1						・評価区分: 小・大 【その他の損傷】 防食機能の劣化-e ・分類1: 塗装 ・アンカーボルト0101 腐食-c(小・小) 防食機能の劣化-e,分類1	

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	4	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損傷写真	写真番号	260	径間番号	4	前回損傷程度	d	写真番号	261	径間番号	4	前回損傷程度	d
	部材名	支承本体	部材番号	0102	メ モ		部材名	支承本体	部材番号	0202	メ モ	
	損傷の種類	腐食	損傷程度	c	支承本体、アンカーボルト全体に腐食が見られる。前回(H30)点検ではd判定だったが、板厚減少が認められなかった為、c判定とした。 ・評価区分:小・大 【その他の損傷】 防食機能の劣化-e ・分類1:塗装 ・アンカーボルト0101 腐食-c(小・小) 防食機能の劣化-e,分類1		損傷の種類	腐食	損傷程度	c	支承本体、アンカーボルト全体に腐食が見られる。前回(H30)点検ではd判定だったが、板厚減少が認められなかった為、c判定とした。 ・評価区分:小・大 【その他の損傷】 防食機能の劣化-e ・分類1:塗装 ・アンカーボルト0101 腐食-c(小・小) 防食機能の劣化-e,分類1	
												
	写真番号	262	径間番号	4	前回損傷程度	a	写真番号	263	径間番号	4	前回損傷程度	a
	部材名	沓座モルタル	部材番号	0101	メ モ		部材名	沓座モルタル	部材番号	0201	メ モ	
	損傷の種類	変形・欠損	損傷程度	e	支承部沓座モルタルに欠損が見られる。新規損傷である。 ・長さ: 750mm ・幅: 300mm ・深さ: 45mm		損傷の種類	うき	損傷程度	e	支承部沓座モルタルにうきが見られる。新規損傷である。 ・長さ: 750mm ・幅: 300mm ・深さ: 45mm	
												

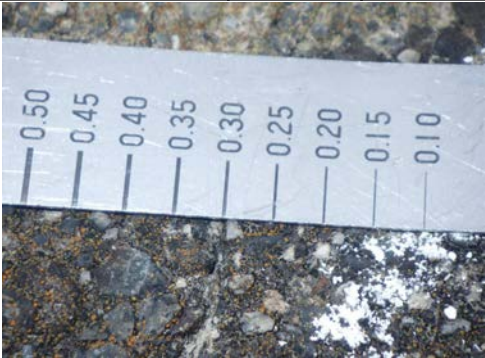


データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	4	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							





損傷写真	写真番号	264	径間番号	4	前回損傷程度	a	写真番号	265	径間番号	4	前回損傷程度	c
	部材名	沓座モルタル	部材番号	0102	メ モ		部材名	沓座モルタル	部材番号	0202	メ モ	
	損傷の種類	変形・欠損	損傷程度	e	支承部沓座モルタルに欠損が見られる。新規損傷である。		損傷の種類	変形・欠損	損傷程度	e	支承部沓座モルタルに欠損が見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
				<ul style="list-style-type: none"> 長さ: 750mm 幅: 300mm 深さ: 45mm 					<ul style="list-style-type: none"> 長さ: 750mm 幅: 300mm 深さ: 45mm 			
	写真番号	266	径間番号	4	前回損傷程度	a	写真番号	267	径間番号	4	前回損傷程度	d
	部材名	舗装	部材番号	01	メ モ		部材名	防護柵	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類		損傷程度	a	損傷なし		損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d	防護柵にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
										<ul style="list-style-type: none"> 幅: 0.3mm 間隔: - mm 長さ: 400mm 評価区分: 大・小 		※写真番号268の遠景

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	4	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							




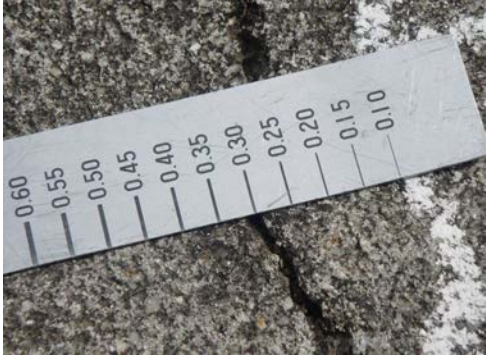
損傷写真	写真番号	268	径間番号	4	前回損傷程度	d	写真番号	269	径間番号	4	前回損傷程度	d
	部材名	防護柵	部材番号	01	メ モ		部材名	防護柵	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d	防護柵にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	防護柵支柱外面に鉄筋露出が見られる。鉄筋の腐食は軽微である。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
					<ul style="list-style-type: none"> ・幅 : 0.3mm ・間隔 : - mm ・長さ : 400mm ・評価区分 : 大・小 				<ul style="list-style-type: none"> ・長さ : 50mm ・幅 : 100mm ・深さ : 10mm 		※写真番号270の遠景	
					※写真番号267の近景							
	写真番号	270	径間番号	4	前回損傷程度	d	写真番号	271	径間番号	4	前回損傷程度	うき-e
	部材名	防護柵	部材番号	01	メ モ		部材名	防護柵	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	防護柵支柱外面に鉄筋露出が見られる。鉄筋の腐食は軽微である。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	防護柵支柱外面に鉄筋露出が見られる。鉄筋の腐食は軽微である。前回(H30)点検のうきから鉄筋露出に進展している。	
					<ul style="list-style-type: none"> ・長さ : 50mm ・幅 : 100mm ・深さ : 10mm 				<ul style="list-style-type: none"> ・長さ : 250mm ・幅 : 100mm ・深さ : 30mm 		【他の損傷】 変形・欠損-c ※写真番号272の遠景	
					※写真番号269の近景							

データ記録様式(その10) 損傷写真				径 間 番 号		4		起点側		緯度		35° 29' 12.628"		終点側		緯度		35° 29' 11.018"		橋梁ID		35.48684,136.24546	
フリガナ 橋 梁 名		アメノモリハシ 雨之森橋				路 線 名		雨森高野線			管理者		長浜市				橋梁コード		BR0-252034-01036				
備考																							





損 傷 写 真	写真番号	272	径間番号	4	前回損傷程度	d	写真番号	273	径間番号	4	前回損傷程度	d
	部材名	防護柵	部材番号	01	メ モ		部材名	防護柵	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	防護柵支柱外面に鉄筋露出が見られる。鉄筋の腐食は軽微である。前回(H30)点検のうきから鉄筋露出に進展している。		損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d	防護柵にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
				・長さ: 250mm ・幅: 100mm ・深さ: 30mm 【他の損傷】 変形・欠損-c ※写真番号271の近景					・幅: 1.0mm ・間隔: - mm ・長さ: 400mm ・評価区分: 大・小			
	写真番号	274	径間番号	4	前回損傷程度	d	写真番号	275	径間番号	4	前回損傷程度	d
	部材名	防護柵	部材番号	02	メ モ		部材名	防護柵	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d	防護柵にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	防護柵笠木下面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。	
				・幅: 0.5mm ・間隔: - mm ・長さ: 400mm ・評価区分: 大・小					・長さ: 100mm ・幅: 50mm ・深さ: 10mm ※写真番号276の遠景			

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	4	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							



損傷写真	写真番号	280	径間番号	4	前回損傷程度	e	写真番号	281	径間番号	4	前回損傷程度	e
	部材名	地覆	部材番号	02	メ モ		部材名	地覆	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	地覆下部に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	地覆下部に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
				<ul style="list-style-type: none"> 長さ: 100mm 幅: 500mm 深さ: 20mm 					<ul style="list-style-type: none"> 長さ: 100mm 幅: 500mm 深さ: 20mm 		※写真番号280の近景	
	写真番号	282	径間番号	4	前回損傷程度	ひびわれ-d	写真番号	283	径間番号	4	前回損傷程度	ひびわれ-d
	部材名	伸縮装置	部材番号	02	メ モ		部材名	伸縮装置	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	その他	損傷程度	e	伸縮装置の後打ちコンクリートにひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。損傷種類を変更した。		損傷の種類	その他	損傷程度	e	伸縮装置の後打ちコンクリートにひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。損傷種類を変更した。	
				<ul style="list-style-type: none"> 分類6: その他(後打ちコンクリートのひびわれ) 幅: 0.2mm 間隔: 600mm 長さ: 100mm 					<ul style="list-style-type: none"> 分類6: その他(後打ちコンクリートのひびわれ) 幅: 0.2mm 間隔: 600mm 長さ: 100mm 		※写真番号282の近景	

データ記録様式(その10) 損傷写真					径 間 番 号		4		起 点 側		緯 度		35° 29' 12.628"		終 点 側		緯 度		35° 29' 11.018"		橋 梁 ID		35.48684,136.24546	
フリガナ 橋 梁 名		アメノモリハシ 雨之森橋			路 線 名		雨森高野線			管 理 者		長 浜 市			橋 梁 コー ド			BR0-252034-01036						
備 考																								

損 傷 写 真	写真番号	284	径間番号	4	前回損傷程度	e	写真番号	285	径間番号	4	前回損傷程度	e
	部材名	伸縮装置	部材番号	02	メ モ		部材名	伸縮装置	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	その他	損傷程度	e	伸縮装置の目地材に脱落が見られる。前回(H30)点検後の補修跡に損傷がみられる。 ・分類4: 目地材の脱落 ※写真番号285の遠景		損傷の種類	その他	損傷程度	e	伸縮装置の目地材に脱落が見られる。前回(H30)点検後の補修跡に損傷がみられる。 ・分類4: 目地材の脱落 ※写真番号284の近景	
												
	写真番号	286	径間番号	4	前回損傷程度	c	写真番号	287	径間番号	4	前回損傷程度	c
	部材名	排水ます	部材番号	01	メ モ		部材名	排水ます	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	腐食	損傷程度	c	排水ます全体に腐食が見られる。板厚減少は認められない。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・評価区分: 小・大 【その他の損傷】 防食機能の劣化-e ・分類1: 塗装 ※写真番号287の遠景		損傷の種類	腐食	損傷程度	c	排水ます全体に腐食が見られる。板厚減少は認められない。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・評価区分: 小・大 【その他の損傷】 防食機能の劣化-e ・分類1: 塗装 ※写真番号286の近景	
												





データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	4	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損 傷 写 真	写真番号	288	径間番号	4	前回損傷程度	e	写真番号	289	径間番号	4	前回損傷程度	e
	部材名	排水管	部材番号	01	メ モ		部材名	排水管	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	腐食	損傷程度	e	排水管全体に板厚減少を伴う腐食が見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・評価区分:大・大 【その他の損傷】 防食機能の劣化-e ・分類1:塗装 ※写真番号289の遠景		損傷の種類	腐食	損傷程度	e	排水管全体に板厚減少を伴う腐食が見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・評価区分:大・大 【その他の損傷】 防食機能の劣化-e ・分類1:塗装 ※写真番号288の近景	
												
	写真番号		径間番号		前回損傷程度		写真番号		径間番号		前回損傷程度	
	部材名		部材番号		メ モ		部材名		部材番号		メ モ	
	損傷の種類		損傷程度				損傷の種類		損傷程度			





データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	5	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損傷写真	写真番号	290	径間番号	5	前回損傷程度	d(23)	写真番号	291	径間番号	5	前回損傷程度	d(23)
	部材名	主桁	部材番号	01	メ モ		部材名	主桁	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(23)	主桁側面にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(23)	主桁側面にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
					・幅 : 0.3mm ・間隔 : - mm ・長さ : 5300mm ・パターン23 ・評価区分 : 大・小 ※写真番号291の遠景						・幅 : 0.3mm ・間隔 : - mm ・長さ : 5300mm ・パターン23 ・評価区分 : 大・小 ※写真番号290の近景	
	写真番号	292	径間番号	5	前回損傷程度	d(2)	写真番号	293	径間番号	5	前回損傷程度	d(2)
	部材名	主桁	部材番号	01	メ モ		部材名	主桁	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	e(2)	主桁下面にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷が進展している。前回w0.2mm,L=2.1m,N=1		損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	e(2)	主桁側面にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷が進展している。前回w0.2mm,L=2.1m,N=1	
					・幅 : 0.3mm, 0.2mm, 0.2mm ・間隔 : 100mm100mm, - mm ・長さ : 650mm, 450mm, 1200mm ・パターン2 ・評価区分 : 大・大 【その他の損傷】 剥離・鉄筋露出-e 250×100×10 ※写真番号293の遠景						・幅 : 0.3mm ・間隔 : 100mm ・長さ : 650mm ・パターン2 ・評価区分 : 大・大 ※写真番号292の近景	





データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	5	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損 傷 写 真	写真番号	294	径間番号	5	前回損傷程度	d(2)	写真番号	295	径間番号	5	前回損傷程度	d(21)
	部材名	主桁	部材番号	01	メ モ		部材名	主桁	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	e(2)	【前回(H30)点検写真】		損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(21)	主桁側面にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
				<ul style="list-style-type: none">・幅：0.2mm・間隔：-mm・長さ：1200mm・パターン2・評価区分：大・小 <p>【その他の損傷】 剥離・鉄筋露出-e</p> <p>※写真番号292の前回点検写真</p>					<ul style="list-style-type: none">・幅：0.3mm・間隔：-mm・長さ：300mm・パターン21・評価区分：大・小			
	写真番号	296	径間番号	5	前回損傷程度	a	写真番号	297	径間番号	5	前回損傷程度	a
	部材名	主桁	部材番号	01	メ モ		部材名	主桁	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	主桁下面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。新規損傷である。		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	主桁下面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。新規損傷である。	
			<ul style="list-style-type: none">・長さ：350mm・幅：200mm・深さ：5mm <p>※写真番号297の遠景</p>					<ul style="list-style-type: none">・長さ：350mm・幅：200mm・深さ：5mm <p>※写真番号296の近景</p>				





データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	5	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損傷写真	写真番号	298	径間番号	5	前回損傷程度	a	写真番号	299	径間番号	5	前回損傷程度	d
	部材名	主桁	部材番号	01	メ モ		部材名	主桁	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	主桁下面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。新規損傷である。		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	主桁側面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。	
				<ul style="list-style-type: none"> 長さ: 350mm 幅: 200mm 深さ: 5mm 					<ul style="list-style-type: none"> 長さ: 350mm、150mm 幅: 150mm、150mm 深さ: 5mm、10mm 		※写真番号300の遠景	
	写真番号	300	径間番号	5	前回損傷程度	d	写真番号	301	径間番号	5	前回損傷程度	d
	部材名	主桁	部材番号	01	メ モ		部材名	主桁	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	主桁側面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	主桁側面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。	
				<ul style="list-style-type: none"> 長さ: 350mm、150mm 幅: 150mm、150mm 深さ: 5mm、10mm 					<ul style="list-style-type: none"> 長さ: 250mm 幅: 100mm 深さ: 10mm 		※写真番号300の遠景	




データ記録様式(その10) 損傷写真			径間番号	5	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
						経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損傷写真	写真番号	302	径間番号	5	前回損傷程度	e	写真番号	303	径間番号	5	前回損傷程度	e
	部材名	主桁	部材番号	01	メ モ		部材名	主桁	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	その他	損傷程度	a	前回(H30)点検で生じていた植生は撤去済。		損傷の種類	その他	損傷程度	a	【前回(H30)点検写真】	
					※撤去済						その他-e ・分類6: 植生 ※写真番号302の前回点検写真	
	写真番号	304	径間番号	5	前回損傷程度	a	写真番号	305	径間番号	5	前回損傷程度	a
	部材名	主桁	部材番号	02	メ モ		部材名	主桁	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(23)	主桁側面にひびわれが見られる。新規損傷である。		損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(23)	主桁側面にひびわれが見られる。新規損傷である。	
					・幅 : 0.4mm ・間隔: - mm ・長さ: 450mm ・パターン23 ・評価区分: 大・小 ※写真番号305の遠景						・幅 : 0.4mm ・間隔: - mm ・長さ: 450mm ・パターン23 ・評価区分: 大・小 ※写真番号304の近景	




データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	5	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損傷写真	写真番号	310	径間番号	5	前回損傷程度	d(21)	写真番号	311	径間番号	5	前回損傷程度	d(21)
	部材名	主桁	部材番号	02	メ モ		部材名	主桁	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(21)	主桁側面にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(21)	主桁側面にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
					・幅 : 0.2mm ・間隔 : - mm ・長さ : 300mm ・パターン21 ・評価区分:大・小 ※写真番号309の近景						・幅 : 0.3mm ・間隔 : - mm ・長さ : 750mm ・パターン21 ・評価区分:大・小 ※写真番号312の遠景	
	写真番号	312	径間番号	5	前回損傷程度	d(21)	写真番号	313	径間番号	5	前回損傷程度	a
	部材名	主桁	部材番号	02	メ モ		部材名	主桁	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(21)	主桁側面にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	主桁下面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。新規損傷である。	
					・幅 : 0.3mm ・間隔 : - mm ・長さ : 750mm ・パターン21 ・評価区分:大・小 ※写真番号311の近景						・長さ : 400mm ・幅 : 50mm ・深さ : 5mm	


データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	5	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							



損 傷 写 真	写真番号	314	径間番号	5	前回損傷程度	a	写真番号	315	径間番号	5	前回損傷程度	a
	部材名	主桁	部材番号	02	メ モ		部材名	主桁	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	主桁下面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。新規損傷である。		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	主桁下面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。新規損傷である。	
					・長さ: 100mm ・幅: 50mm ・深さ: 0mm ※写真番号315の遠景						・長さ: 100mm ・幅: 50mm ・深さ: 0mm ※写真番号314の近景	
	写真番号	316	径間番号	5	前回損傷程度	e(24)	写真番号	317	径間番号	5	前回損傷程度	e(24)
	部材名	横桁	部材番号	01	メ モ		部材名	横桁	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	e(24)	横桁にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	e(24)	横桁にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
					・幅: 0.2mm ・間隔: 100mm ・長さ: 800mm、500mm、600mm ・パターン24 ・評価区分: 大・大 ※写真番号317の遠景						・幅: 0.2mm ・間隔: 100mm ・長さ: 800mm、500mm、600mm ・パターン24 ・評価区分: 大・大 ※写真番号316の近景	
					※写真番号317の遠景						※写真番号316の近景	

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	5	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

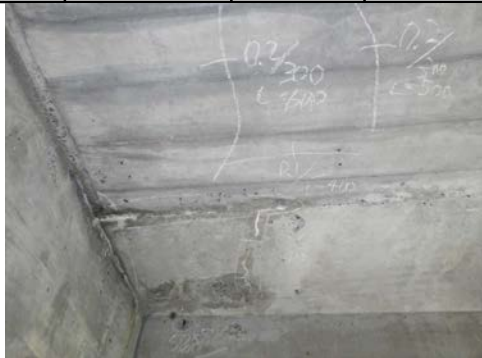

損傷写真	写真番号	318	径間番号	5	前回損傷程度	d	写真番号	319	径間番号	5	前回損傷程度	d
	部材名	横桁	部材番号	01	メ モ		部材名	横桁	部材番号	05	メ モ	
	損傷の種類	漏水・遊離石灰	損傷程度	d	支承付近の横桁に遊離石灰が見られる。錆汁は含んでいない。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	漏水・遊離石灰	損傷程度	d	横桁上部に遊離石灰が見られる。錆汁は含んでいない。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
												
	写真番号	320	径間番号	5	前回損傷程度	d	写真番号	321	径間番号	5	前回損傷程度	a
	部材名	床版	部材番号	01	メ モ		部材名	床版	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	床版に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	床版に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。新規損傷である。	
					・長さ: 50mm ・幅: 50mm ・深さ: 5mm						・長さ: 300mm ・幅: 100mm ・深さ: 10mm ※写真番号322の遠景	

データ記録様式(その10) 損傷写真				径間番号		5		起点側 <table border="1"> <tr> <td>緯度</td> <td>35° 29' 12.628"</td> </tr> <tr> <td>経度</td> <td>136° 14' 43.660"</td> </tr> </table>		緯度	35° 29' 12.628"	経度	136° 14' 43.660"	終点側 <table border="1"> <tr> <td>緯度</td> <td>35° 29' 11.018"</td> </tr> <tr> <td>経度</td> <td>136° 14' 50.579"</td> </tr> </table>		緯度	35° 29' 11.018"	経度	136° 14' 50.579"	橋梁ID		35.48684,136.24546	
緯度	35° 29' 12.628"																						
経度	136° 14' 43.660"																						
緯度	35° 29' 11.018"																						
経度	136° 14' 50.579"																						
フリガナ 橋梁名		アメノモリハシ 雨之森橋		路線名		雨森高野線		管理者		長浜市		橋梁コード		BR0-252034-01036									
備考																							

損 傷 写 真	写真番号	322	径間番号	5	前回損傷程度	a	写真番号	323	径間番号	5	前回損傷程度	d
	部材名	床版	部材番号	01	メ モ		部材名	床版	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	床版に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。新規損傷である。 ・長さ: 300mm ・幅: 100mm ・深さ: 10mm ※写真番号321の近景		損傷の種類	漏水・遊離石灰	損傷程度	d	張出し床版排水施設周辺に漏水・遊離石灰が見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
												
	写真番号	324	径間番号	5	前回損傷程度	a	写真番号	325	径間番号	5	前回損傷程度	d
	部材名	床版	部材番号	01	メ モ		部材名	床版	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	漏水・遊離石灰	損傷程度	d	床版端部に漏水・遊離石灰が見られる。新規損傷である。		損傷の種類	漏水・遊離石灰	損傷程度	d	張出し床版排水施設周辺に漏水・遊離石灰が見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
												

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	5	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損傷写真	写真番号	326	径間番号	5	前回損傷程度	d	写真番号	327	径間番号	5	前回損傷程度	d
	部材名	床版	部材番号	01	メ モ		部材名	床版	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	床版ひびわれ	損傷程度	d(1)	中間床版に床版ひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	床版ひびわれ	損傷程度	d(1)	中間床版に床版ひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
					・幅：0.3mm、0.2mm、0.2mm ・間隔：300mm、300mm ・長さ：600mm、600mm、500mm ・パターン1 【その他の損傷】 漏水・遊離石灰-d ※写真番号327の遠景						・幅：0.3mm、0.2mm、0.2mm ・間隔：300mm、300mm ・長さ：600mm、600mm、500mm ・パターン1 【その他の損傷】 漏水・遊離石灰-d ※写真番号326の近景	
	写真番号	328	径間番号	5	前回損傷程度	d	写真番号	329	径間番号	5	前回損傷程度	d(16)
	部材名	床版	部材番号	01	メ モ		部材名	PC定着部	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	床版ひびわれ	損傷程度	d(1)	中間床版に床版ひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(16)	Cr04PC定着部にひびわれからの軽微な遊離石灰が見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
					・幅：0.2mm、0.2mm ・間隔：300mm ・長さ：600mm、500mm ・パターン1 【その他の損傷】 漏水・遊離石灰-d						・幅：0.1mm、0.05mm ・間隔：200mm ・長さ：200mm、100mm ・パターン16 ・評価区分：中・大 【その他の損傷】 漏水・遊離石灰-d 定着部の異常-c ・分類2: PC鋼材横締め ・パターン1 ※写真番号330の遠景	





データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	5	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損傷写真	写真番号	330	径間番号	5	前回損傷程度	d(16)	写真番号	331	径間番号	5	前回損傷程度	記載なし
	部材名	PC定着部	部材番号	01	メ モ		部材名	PC定着部	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(16)	Cr04PC定着部にひびわれが見られる。新規損傷である。 ・幅：0.1mm、0.05mm ・間隔：200mm ・長さ：200mm、100mm ・パターン16 ・評価区分：中・大 【その他の損傷】 漏水・遊離石灰-d 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン1 ※写真番号329の近景		損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(16)	Cr05PC定着部にひびわれ、鉄筋露出が見られる。前回(H30)点検よりひびわれを追加した。前回写真にチョーキングはあるが詳細は不明。 ・幅：0.2mm ・間隔：-mm ・長さ：300mm ・パターン16・評価区分：大・小 【その他の損傷】 剥離・鉄筋露出-e 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン1、3 ※写真番号332、333の遠景	
												
	写真番号	332	径間番号	5	前回損傷程度	記載なし	写真番号	333	径間番号	5	前回損傷程度	d
	部材名	PC定着部	部材番号	01	メ モ		部材名	PC定着部	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(16)	Cr05PC定着部にひびわれが見られる。前回(H30)点検よりひびわれを追加した。前回写真にチョーキングはあるが詳細は不明。 ・幅：0.2mm ・間隔：-mm ・長さ：300mm ・パターン16 ・評価区分：大・小 【その他の損傷】 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン1 ※写真番号331の近景		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	Cr05PC定着部に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。 ・長さ：250mm、30mm ・幅：50mm、30mm ・深さ：0mm、0mm 【その他の損傷】 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン3 ※写真番号331の近景	
												





データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	5	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損傷写真	写真番号	334	径間番号	5	前回損傷程度	d	写真番号	335	径間番号	5	前回損傷程度	d
	部材名	PC定着部	部材番号	01	メ モ		部材名	PC定着部	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	Cr01PC定着部に鋼材(グラウト注入口)の露出が見られる。鋼材の腐食は軽微である。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・長さ: 30mm ・幅: 30mm ・深さ: 0mm ・4箇所 【その他の損傷】 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン3 ※写真番号335の遠景		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	Cr01PC定着部に鋼材(グラウト注入口)の露出が見られる。鋼材の腐食は軽微である。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・長さ: 30mm ・幅: 30mm ・深さ: 0mm ・3箇所 【その他の損傷】 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン3 ※写真番号334の近景	
												
	写真番号	336	径間番号	5	前回損傷程度	a	写真番号	337	径間番号	5	前回損傷程度	a
	部材名	PC定着部	部材番号	02	メ モ		部材名	PC定着部	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(16)	Cr01PC定着部にひびわれ、鉄筋露出が見られる。新規損傷である。 ・幅: 0.3mm ・間隔: -mm ・長さ: 400mm ・パターン16 ・評価区分: 大・小 【その他の損傷】 剥離・鉄筋露出-e 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン1、3 ※写真番号337, 338の遠景		損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(16)	Cr01PC定着部にひびわれ、鉄筋露出が見られる。新規損傷である。 ・幅: 0.3mm ・間隔: -mm ・長さ: 400mm ・パターン16 ・評価区分: 大・小 【その他の損傷】 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン1 ※写真番号336の近景	
												

データ記録様式(その10) 損傷写真			径間番号	5	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
						経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損 傷 写 真	写真番号	338	径間番号	5	前回損傷程度	a	写真番号	339	径間番号	5	前回損傷程度	d(16)
	部材名	PC定着部	部材番号	02	メ モ		部材名	PC定着部	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	CR01PC定着部に鉄筋露出が 見られる。新規損傷である。		損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(16)	Cr05PC定着部にひびわれ、鉄筋 露出が見られる。前回(H30)点検 から鉄筋露出は新たな損傷であ る。	
				・長さ: 50mm ・幅 : 50mm ・深さ: 0mm 【その他の損傷】 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン3 ※写真番号336の近景					・幅 : 0.2mm ・間隔: -mm ・長さ: 400mm ・パターン16 ・評価区分: 大・小 【その他の損傷】 剥離・鉄筋露出-e 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン1、3 ※写真番号340、341の遠景			
	写真番号	340	径間番号	5	前回損傷程度	d(16)	写真番号	341	径間番号	5	前回損傷程度	a
	部材名	PC定着部	部材番号	02	メ モ		部材名	PC定着部	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(16)	Cr05PC定着部にひびわれ、鉄筋露 出が見られる。前回(H30)点検より 損傷の進展は見られない。		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	Cr05PC定着部に鉄筋露出が 見られる。新規損傷である。	
				・幅 : 0.2mm ・間隔: -mm ・長さ: 400mm ・パターン16 ・評価区分: 大・小 【その他の損傷】 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン1 ※写真番号339の近景					・長さ: 400mm ・幅 : 50mm ・深さ: 10mm 【その他の損傷】 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン3 ※写真番号339の近景			

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	5	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損傷写真	写真番号	342	径間番号	5	前回損傷程度	d	写真番号	343	径間番号	5	前回損傷程度	d
	部材名	PC定着部	部材番号	02	メ モ		部材名	PC定着部	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	Cr04PC定着部に鉄筋露出が見られる。鋼材の腐食は軽微である。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・長さ: 50mm ・幅: 50mm ・深さ: 10mm 【その他の損傷】 定着部の異常-c ・分類2: PC鋼材横締め ・パターン3 ※写真番号343の遠景		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	Cr04PC定着部に鉄筋露出が見られる。鋼材の腐食は軽微である。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・長さ: 50mm ・幅: 50mm ・深さ: 10mm 【その他の損傷】 定着部の異常-c ・分類2: PC鋼材横締め ・パターン3 ※写真番号342の遠景	
												
	写真番号	344	径間番号	5	前回損傷程度	d(7)	写真番号	345	径間番号	5	前回損傷程度	e
	部材名	下部工	部材番号	02	メ モ		部材名	下部工	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(7)	梁部 P5橋脚 梁部中央に鉛直方向のひびわれが見られる。 前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・幅: 0.2mm ・間隔: 400mm ・長さ: 400mm ・パターン7 ・評価区分: 中・大 ※写真番号345の遠景		損傷の種類	その他	損傷程度	a	梁部、柱部・壁部 P5橋脚 前回(H30)点検で生じていた植生は撤去済。 ※撤去済	
												

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	5	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損 傷 写 真	写真番号	346	径間番号	5	前回損傷程度	e	写真番号	347	径間番号	5	前回損傷程度	c
	部材名	下部工	部材番号	02	メ モ		部材名	下部工	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	その他	損傷程度	a	【前回(H30)点検写真】		損傷の種類	補修・補強材の損傷	損傷程度	c	梁部 P5橋脚 起点側梁部の補強鋼材に板厚減少を伴う腐食が見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 分類1: 鋼板	
				その他-e ・分類6: 植生					【その他の損傷】 腐食-c ・評価区分: 大・小 防食機能の劣化-e ・分類1: 塗装			
				※写真番号345の前回点検写真					※写真番号348の遠景			
	写真番号	348	径間番号	5	前回損傷程度	c	写真番号	349	径間番号	5	前回損傷程度	c
	部材名	下部工	部材番号	02	メ モ		部材名	支承本体	部材番号	0101	メ モ	
	損傷の種類	補修・補強材の損傷	損傷程度	c	梁部 P5橋脚 起点側梁部の補強鋼材に板厚減少を伴う腐食が見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 分類1: 鋼板		損傷の種類	腐食	損傷程度	c	支承本体、アンカーボルト全体に腐食が見られる。板厚減少は認められない。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・評価区分: 小・大	
			【その他の損傷】 腐食-d ・評価区分: 大・小 防食機能の劣化-e ・分類1: 塗装					【その他の損傷】 防食機能の劣化-e ・分類1: 塗装 ・アンカーボルト0101 腐食-c(小・大) 防食機能の劣化-e,分類1				
			※写真番号347の近景									

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	5	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損 傷 写 真	写真番号	350	径間番号	5	前回損傷程度	c	写真番号	351	径間番号	5	前回損傷程度	c
	部材名	支承本体	部材番号	0201	メ モ		部材名	支承本体	部材番号	0102	メ モ	
	損傷の種類	腐食	損傷程度	c	支承本体、アンカーボルト全体に腐食が見られる。板厚減少は認められない。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・評価区分:小・大 【その他の損傷】 防食機能の劣化-e ・分類1:塗装 ・アンカーボルト0101 腐食-c(小・大) 防食機能の劣化-e,分類1		損傷の種類	腐食	損傷程度	c	支承本体、アンカーボルト全体に腐食が見られる。板厚減少は認められない。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・評価区分:小・大 【その他の損傷】 防食機能の劣化-e ・分類1:塗装 ・アンカーボルト0101 腐食-c(小・大) 防食機能の劣化-e,分類1	
												
	写真番号	352	径間番号	5	前回損傷程度	c	写真番号	353	径間番号	5	前回損傷程度	a
	部材名	支承本体	部材番号	0202	メ モ		部材名	沓座モルタル	部材番号	0101	メ モ	
	損傷の種類	腐食	損傷程度	c	支承本体、アンカーボルト全体に腐食が見られる。板厚減少は認められない。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・評価区分:小・大 【その他の損傷】 防食機能の劣化-e ・分類1:塗装 ・アンカーボルト0101 腐食-c(小・大) 防食機能の劣化-e,分類1		損傷の種類	変形・欠損	損傷程度	e	支承部沓座モルタルに欠損が見られる。新規損傷である。 ・長さ: 700mm ・幅: 250mm ・深さ: 40mm	
												

データ記録様式(その10) 損傷写真				径 間 番 号		5		起点側		緯度		35° 29' 12.628"		終点側		緯度		35° 29' 11.018"		橋梁ID		35.48684,136.24546	
フリガナ 橋 梁 名		アメノモリハシ 雨之森橋				路 線 名		雨森高野線			管理者		長浜市				橋梁コード		BR0-252034-01036				
備考																							

損 傷 写 真	写真番号	354	径間番号	5	前回損傷程度	c	写真番号	355	径間番号	5	前回損傷程度	c
	部材名	舗装	部材番号	01	メ モ		部材名	舗装	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	舗装の異常	損傷程度	c(1)	舗装にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 幅: 3.0mm パターン: 1		損傷の種類	舗装の異常	損傷程度	c(1)	舗装にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 幅: 3.0mm パターン: 1	
				※写真番号355の遠景					※写真番号354の近景			
	写真番号	356	径間番号	5	前回損傷程度	d	写真番号	357	径間番号	5	前回損傷程度	d
	部材名	防護柵	部材番号	01	メ モ		部材名	防護柵	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d	防護柵にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・幅 : 0.5mm、0.5mm ・間隔: 1300mm、1300mm ・長さ: 400mm、400mm ・評価区分: 大・小		損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d	防護柵にひびわれが見られる。 前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・幅 : 0.5mm ・間隔: 1300mm ・長さ: 400mm ・評価区分: 大・小	
			※写真番号357の遠景					※写真番号356の近景				

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	5	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損傷写真	写真番号	362	径間番号	5	前回損傷程度	e	写真番号	363	径間番号	5	前回損傷程度	d
	部材名	防護柵	部材番号	01	メ モ		部材名	防護柵	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	うき	損傷程度	e	防護柵支柱外面にうきが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d	防護柵にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
					<ul style="list-style-type: none"> 長さ: 300mm 幅: 150mm 				<ul style="list-style-type: none"> 幅: 0.5mm 間隔: -mm 長さ: 400mm 評価区分: 大・小 		※写真番号364の遠景	
	写真番号	364	径間番号	5	前回損傷程度	d	写真番号	365	径間番号	5	前回損傷程度	e
	部材名	防護柵	部材番号	02	メ モ		部材名	防護柵	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d	防護柵にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	防護柵笠木下部に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
					<ul style="list-style-type: none"> 幅: 0.5mm 間隔: -mm 長さ: 400mm 評価区分: 大・小 				<ul style="list-style-type: none"> 長さ: 100mm 幅: 100mm 深さ: 10mm 		※写真番号366の遠景	
					※写真番号363の近景							

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	5	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損傷写真	写真番号	366	径間番号	5	前回損傷程度	e	写真番号	367	径間番号	5	前回損傷程度	c
	部材名	防護柵	部材番号	02	メ モ		部材名	防護柵	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	防護柵笠木下部に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・長さ: 100mm ・幅: 100mm ・深さ: 10mm ※写真番号365の近景		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	c	防護柵支柱外面に剥離が見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・長さ: 50mm ・幅: 50mm ・深さ: 30mm 【その他の損傷】 変形・欠損-c ※写真番号368の遠景	
												
	写真番号	368	径間番号	5	前回損傷程度	c	写真番号	369	径間番号	5	前回損傷程度	d
	部材名	防護柵	部材番号	02	メ モ		部材名	地覆	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	c	防護柵支柱外面に剥離が見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・長さ: 50mm ・幅: 50mm ・深さ: 30mm 【その他の損傷】 変形・欠損-c ※写真番号367の近景		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	地覆下面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。 ・長さ: 50mm ・幅: 50mm ・深さ: 5mm	
												

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	5	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損 傷 写 真	写真番号	370	径間番号	5	前回損傷程度	b	写真番号	371	径間番号	5	前回損傷程度	b
	部材名	伸縮装置	部材番号	02	メ モ		部材名	伸縮装置	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	腐食	損傷程度	b	伸縮装置に局所的な腐食が見られる。板厚減少は認められない。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・評価区分:小・小 【その他の損傷】 防食機能の劣化-e ・分類1:塗装 ※写真番号371の遠景		損傷の種類	腐食	損傷程度	b	伸縮装置に局所的な腐食が見られる。板厚減少は認められない。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・評価区分:小・小 【その他の損傷】 防食機能の劣化-e ・分類1:塗装 ※写真番号370の近景	
												
	写真番号	372	径間番号	5	前回損傷程度	b	写真番号	373	径間番号	5	前回損傷程度	b
	部材名	排水ます	部材番号	01	メ モ		部材名	排水ます	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	腐食	損傷程度	b	排水ますに局所的な腐食が見られる。板厚減少は認められない。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・評価区分:小・小 【その他の損傷】 防食機能の劣化-e ・分類1:塗装 ※写真番号373の遠景		損傷の種類	腐食	損傷程度	b	排水ますに局所的な腐食が見られる。板厚減少は認められない。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・評価区分:小・小 【その他の損傷】 防食機能の劣化-e ・分類1:塗装 ※写真番号372の近景	
												




データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	5	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損 傷 写 真	写真番号	374	径間番号	5	前回損傷程度	c	写真番号		径間番号		前回損傷程度	
	部材名	排水管	部材番号	01	メ モ		部材名		部材番号		メ モ	
	損傷の種類	腐食	損傷程度	c	<div>排水管全体に腐食が見られる。 板厚減少は認められない。前回 (H30)点検より損傷の進展は見 られない。</div> <div>・評価区分:小・大</div> <div>【その他の損傷】 防食機能の劣化-e</div> <div>・分類1:塗装</div>		損傷の種類		損傷程度			
												
	写真番号		径間番号		前回損傷程度		写真番号		径間番号		前回損傷程度	
	部材名		部材番号		メ モ		部材名		部材番号		メ モ	
	損傷の種類		損傷程度				損傷の種類		損傷程度			

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	6	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損傷写真	写真番号	375	径間番号	6	前回損傷程度	d(4)	写真番号	376	径間番号	6	前回損傷程度	d(4)
	部材名	主桁	部材番号	01	メ モ		部材名	主桁	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(4)	主桁側面にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(4)	主桁側面にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
					<ul style="list-style-type: none"> ・幅 : 0.4mm ・間隔 : - mm ・長さ : 650mm ・パターン4 ・評価区分: 大・小 						<ul style="list-style-type: none"> ・幅 : 0.4mm ・間隔 : - mm ・長さ : 650mm ・パターン4 ・評価区分: 大・小 	
					※写真番号376の遠景						※写真番号375の近景	
	写真番号	377	径間番号	6	前回損傷程度	d(4)	写真番号	378	径間番号	6	前回損傷程度	d(4)
	部材名	主桁	部材番号	01	メ モ		部材名	主桁	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(4)	主桁側面にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(4)	主桁側面にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
					<ul style="list-style-type: none"> ・幅 : 0.5mm ・間隔 : - mm ・長さ : 350mm ・パターン4 ・評価区分: 大・小 						<ul style="list-style-type: none"> ・幅 : 0.5mm ・間隔 : - mm ・長さ : 350mm ・パターン4 ・評価区分: 大・小 	
					※写真番号378の遠景						※写真番号377の近景	

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	6	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損 傷 写 真	写真番号	379	径間番号	6	前回損傷程度	a	写真番号	380	径間番号	6	前回損傷程度	a
	部材名	主桁	部材番号	01	メ モ		部材名	主桁	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	主桁側面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。新規損傷である。 ・長さ: 100mm ・幅: 650mm ・深さ: 20mm ※写真番号380の遠景		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	主桁側面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。新規損傷である。 ・長さ: 100mm ・幅: 650mm ・深さ: 20mm ※写真番号379の近景	
												
	写真番号	381	径間番号	6	前回損傷程度	a	写真番号	382	径間番号	6	前回損傷程度	e
	部材名	主桁	部材番号	01	メ モ		部材名	主桁	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	主桁側面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。新規損傷である。 ・長さ: 500mm ・幅: 50mm ・深さ: 5mm		損傷の種類	その他	損傷程度	a	前回(H30)点検で生じていた植生は撤去済。 ※撤去済	
												





データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	6	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損 傷 写 真	写真番号	383	径間番号	6	前回損傷程度	e	写真番号	384	径間番号	6	前回損傷程度	d(4)
	部材名	主桁	部材番号	01	メ モ		部材名	主桁	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	その他	損傷程度	a	【前回(H30)点検時写真】		損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(4)	主桁側面にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
				その他-e ・分類6: 植生 ※写真番号382の前回点検写真					・幅 : 0.3mm ・間隔: - mm ・長さ: 330mm ・パターン4 ・評価区分: 大・小 ※写真番号385の遠景			
	写真番号	385	径間番号	6	前回損傷程度	d(4)	写真番号	386	径間番号	6	前回損傷程度	d
	部材名	主桁	部材番号	02	メ モ		部材名	主桁	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(4)	主桁側面にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	主桁側面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。	
				・幅 : 0.3mm ・間隔: - mm ・長さ: 330mm ・パターン4 ・評価区分: 大・小 ※写真番号384の近景					・長さ: 50mm、100mm ・幅 : 100mm、50mm ・深さ: 0mm、0mm ※写真番号387の遠景			





データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	6	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損傷写真	写真番号	387	径間番号	6	前回損傷程度	d	写真番号	388	径間番号	6	前回損傷程度	a
	部材名	主桁	部材番号	02	メ モ		部材名	主桁	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	主桁側面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	主桁側面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。新規損傷である。	
				<ul style="list-style-type: none"> ・長さ: 50mm、100mm ・幅: 100mm、50mm ・深さ: 0mm、0mm 					<ul style="list-style-type: none"> ・長さ: 500mm、100mm ・幅: 50mm、50mm ・深さ: 0mm、0mm 		※写真番号389の遠景	
	写真番号	389	径間番号	6	前回損傷程度	a	写真番号	390	径間番号	6	前回損傷程度	d(24)
	部材名	主桁	部材番号	02	メ モ		部材名	横桁	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	主桁側面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。新規損傷である。		損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(24)	横桁にひびわれ、鉄筋露出が見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
				<ul style="list-style-type: none"> ・長さ: 500mm、100mm ・幅: 50mm、50mm ・深さ: 0mm、0mm 					<ul style="list-style-type: none"> ・幅: 0.2mm ・間隔: - mm ・長さ: 600mm、1000mm ・パターン24 ・評価区分: 中・小 		【その他の損傷】 剥離・鉄筋露出-d ※写真番号391、392の遠景	





データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	6	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損傷写真	写真番号	391	径間番号	6	前回損傷程度	d(24)	写真番号	392	径間番号	6	前回損傷程度	d
	部材名	横桁	部材番号	01	メ モ		部材名	横桁	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(24)	横桁にひびわれ、鉄筋露出が見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	横桁に鉄筋露出が見られる。鋼材の腐食は軽微である。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
					<ul style="list-style-type: none"> ・幅 : 0.2mm ・間隔: - mm ・長さ: 600mm、1000mm ・パターン24 ・評価区分: 大・小 				<ul style="list-style-type: none"> ・長さ: 50mm ・幅 : 300mm ・深さ: 10mm 		※写真番号390の近景	
	写真番号	393	径間番号	6	前回損傷程度	d	写真番号	394	径間番号	6	前回損傷程度	d
	部材名	横桁	部材番号	02	メ モ		部材名	横桁	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	横桁に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	横桁に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。	
					<ul style="list-style-type: none"> ・長さ: 50mm ・幅 : 400mm ・深さ: 0mm 				<ul style="list-style-type: none"> ・長さ: 50mm ・幅 : 400mm ・深さ: 0mm 		※写真番号393の近景	
					※写真番号394の遠景							

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	6	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損傷写真	写真番号	395	径間番号	6	前回損傷程度	c(24)	写真番号	396	径間番号	6	前回損傷程度	c(24)
	部材名	横桁	部材番号	05	メ モ		部材名	横桁	部材番号	05	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	c(24)	横桁にひびわれ、鉄筋露出が見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	c(24)	横桁にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
					・幅 : 0.1mm ・間隔 : - mm ・長さ : 600mm ・パターン24 ・評価区分 : 中・小 【その他の損傷】 剥離・鉄筋露出-d 150×150×5 ※写真番号396の遠景						・幅 : 0.1mm ・間隔 : - mm ・長さ : 600mm ・パターン24 ・評価区分 : 中・小 ※写真番号397の近景	
	写真番号	397	径間番号	6	前回損傷程度	d	写真番号	398	径間番号	6	前回損傷程度	d
	部材名	床版	部材番号	01	メ モ		部材名	床版	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	張出し床版に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	張出し床版に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。	
					・長さ : 280mm ・幅 : 430mm ・深さ : 10mm ※写真番号398の遠景						・長さ : 280mm ・幅 : 430mm ・深さ : 10mm ※写真番号397の近景	

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	6	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損 傷 写 真	写真番号	403	径間番号	6	前回損傷程度	d	写真番号	404	径間番号	6	前回損傷程度	d
	部材名	床版	部材番号	01	メ モ		部材名	床版	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	床版ひびわれ	損傷程度	d(1)	中間床版に床版ひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	床版ひびわれ	損傷程度	d(1)	中間床版に床版ひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
					・幅：0.3mm ・間隔：-mm ・長さ：500mm ・パターン1 ※写真番号402の近景						・幅：0.2mm ・間隔：-mm ・長さ：400mm ・パターン1	
	写真番号	405	径間番号	6	前回損傷程度	e	写真番号	406	径間番号	6	前回損傷程度	a
	部材名	床版	部材番号	01	メ モ		部材名	PC定着部	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	その他	損傷程度	e	床版に農業用資材が置かれている。		損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(16)	Cr05PC定着部にひびわれが見られる。新規損傷である。	
				・分類1:不法占用						・幅：0.3mm ・間隔：- mm ・長さ：350mm ・パターン16 ・評価区分:大・小 【その他の損傷】 剥離・鉄筋露出-d 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン1、3 ※写真番号407、408の遠景		

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	6	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損 傷 写 真	写真番号	407	径間番号	6	前回損傷程度	a	写真番号	408	径間番号	6	前回損傷程度	e
	部材名	PC定着部	部材番号	01	メ モ		部材名	PC定着部	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(16)	Cr05PC定着部にひびわれが見られる。新規損傷である。		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	Cr05PC定着部に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
				・幅：0.3mm ・間隔：- mm ・長さ：350mm ・パターン16 ・評価区分：大・小 【その他の損傷】 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン1 ※写真番号406の近景					・長さ：100mm ・幅：50mm ・深さ：0mm ※写真番号406の近景			
	写真番号	409	径間番号	6	前回損傷程度	d	写真番号	410	径間番号	6	前回損傷程度	e
	部材名	PC定着部	部材番号	01	メ モ		部材名	PC定着部	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	Cr03PC定着部に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	Cr03PC定着部に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。	
				・長さ：800mm ・幅：50mm ・深さ：10mm ※写真番号410の遠景					・長さ：800mm ・幅：50mm ・深さ：10mm ※写真番号409の近景			





データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	6	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損傷写真	写真番号	411	径間番号	6	前回損傷程度	d	写真番号	412	径間番号	6	前回損傷程度	d
	部材名	PC定着部	部材番号	01	メ モ		部材名	PC定着部	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	Cr01PC定着部に漏水・遊離石灰が見られる。錆汁の混入は見られない。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	Cr01PC定着部に漏水・遊離石灰が見られる。錆汁の混入は見られない。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
				【その他の損傷】 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン2 ※写真番号412の遠景					【その他の損傷】 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン2 ※写真番号411の近景			
	写真番号	413	径間番号	6	前回損傷程度	d(16)	写真番号	414	径間番号	6	前回損傷程度	d(16)
	部材名	PC定着部	部材番号	02	メ モ		部材名	PC定着部	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(16)	Cr01PC定着部にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・幅：0.2mm ・間隔：- mm ・長さ：400mm ・パターン16 ・評価区分：大・小 【その他の損傷】 剥離・鉄筋露出-d 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン1、3 ※写真番号414の遠景 ※写真番号415の右側		損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d(16)	Cr01PC定着部にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・幅：0.2mm ・間隔：- mm ・長さ：400mm ・パターン16 ・評価区分：大・小 【その他の損傷】 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン1 ※写真番号413の近景	
				※写真番号414の遠景 ※写真番号415の右側					※写真番号413の近景			

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	6	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損傷写真	写真番号	419	径間番号	6	前回損傷程度	a	写真番号	420	径間番号	6	前回損傷程度	a
	部材名	PC定着部	部材番号	02	メ モ		部材名	PC定着部	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	Cr03PC定着部に鋼材(グラウト注入口)の露出が見られる。鋼材の腐食は軽微である。新規損傷である。 ・長さ: 30mm ・幅 : 30mm ・深さ: 0mm ・3箇所 【その他の損傷】 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン3 ※写真番号420の遠景		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	Cr03PC定着部に鋼材(グラウト注入口)の露出が見られる。鋼材の腐食は軽微である。新規損傷である。 ・長さ: 30mm ・幅 : 30mm ・深さ: 0mm ・3箇所 【その他の損傷】 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン3 ※写真番号419の近景	
												
	写真番号	421	径間番号	6	前回損傷程度	a	写真番号	422	径間番号	6	前回損傷程度	a
	部材名	PC定着部	部材番号	02	メ モ		部材名	PC定着部	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	Cr04PC定着部に鋼材(グラウト注入口)の露出が見られる。鋼材の腐食は軽微である。新規損傷である。 ・長さ: 30mm ・幅 : 30mm ・深さ: 0mm ・3箇所 【その他の損傷】 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン3 ※写真番号422の遠景		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	d	Cr04PC定着部に鋼材(グラウト注入口)の露出が見られる。鋼材の腐食は軽微である。新規損傷である。 ・長さ: 30mm ・幅 : 30mm ・深さ: 0mm ・3箇所 【その他の損傷】 定着部の異常-c ・分類2:PC鋼材横締め ・パターン3 ※写真番号421の近景	
												

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	6	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損 傷 写 真	写真番号	423	径間番号	6	前回損傷程度	e	写真番号	424	径間番号	6	前回損傷程度	e
	部材名	下部工	部材番号	02	メ モ		部材名	下部工	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	胸壁 A1橋台 胸壁に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・長さ: 250mm ・幅 : 500mm ・深さ: 20mm ※写真番号424の遠景		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	胸壁 A1橋台 胸壁に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・長さ: 250mm ・幅 : 500mm ・深さ: 20mm ※写真番号425の近景	
												
	写真番号	425	径間番号	6	前回損傷程度	e	写真番号	426	径間番号	6	前回損傷程度	e
	部材名	下部工	部材番号	02	メ モ		部材名	下部工	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	その他	損傷程度	e	橋台前面に農業用資材が置かれている。 ・分類1: 不法占用		損傷の種類	土砂詰まり	損傷程度	e	縦壁 A1橋台 A1橋台縦壁上面に土砂が堆積している。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
												

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	6	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損傷写真	写真番号	427	径間番号	6	前回損傷程度	d	写真番号	428	径間番号	6	前回損傷程度	d
	部材名	支承本体	部材番号	0101	メ モ		部材名	支承本体	部材番号	0201	メ モ	
	損傷の種類	腐食	損傷程度	c	支承本体、アンカーボルト全体に腐食が見られる。前回(H30)点検ではd判定だったが、板厚減少が認められなかった為、c判定とした。 ・評価区分:小・大 【その他の損傷】 防食機能の劣化-e ・分類1:塗装 ・アンカーボルト0101 腐食-c(小・大) 防食機能の劣化-e,分類1		損傷の種類	腐食	損傷程度	c	支承本体、アンカーボルト全体に腐食が見られる。前回(H30)点検ではd判定だったが、板厚減少が認められなかった為、c判定とした。 ・評価区分:小・大 【その他の損傷】 防食機能の劣化-e ・分類1:塗装 ・アンカーボルト0101 腐食-c(小・大) 防食機能の劣化-e,分類1	
												
	写真番号	429	径間番号	6	前回損傷程度	d	写真番号	430	径間番号	6	前回損傷程度	d
	部材名	支承本体	部材番号	0102	メ モ		部材名	支承本体	部材番号	0202	メ モ	
	損傷の種類	腐食	損傷程度	c	支承本体、アンカーボルト全体に腐食が見られる。前回(H30)点検ではd判定だったが、板厚減少が認められなかった為、c判定とした。 ・評価区分:小・大 【その他の損傷】 防食機能の劣化-e ・分類1:塗装 ・アンカーボルト0101 腐食-c(小・大) 防食機能の劣化-e,分類1		損傷の種類	腐食	損傷程度	c	支承本体、アンカーボルト全体に腐食が見られる。前回(H30)点検ではd判定だったが、板厚減少が認められなかった為、c判定とした。 ・評価区分:小・大 【その他の損傷】 防食機能の劣化-e ・分類1:塗装 ・アンカーボルト0101 腐食-c(小・大) 防食機能の劣化-e,分類1	
												

データ記録様式(その10) 損傷写真				径 間 番 号		6		起 点 側		緯 度		35° 29' 12.628"		終 点 側		緯 度		35° 29' 11.018"		橋 梁 ID		35.48684,136.24546	
フリガナ 橋 梁 名		アメノモリハシ 雨之森橋				路 線 名		雨森高野線		管 理 者		長 浜 市				橋 梁 コード		BR0-252034-01036					
備 考																							

損 傷 写 真	写真番号	431	径間番号	6	前回損傷程度	c	写真番号	432	径間番号	6	前回損傷程度	c
	部材名	沓座モルタル	部材番号	0101	メ モ		部材名	沓座モルタル	部材番号	0101	メ モ	
	損傷の種類	変形・欠損	損傷程度	e	支承部沓座モルタルに欠損が見られる。前回(H30)点検より、損傷が拡大している。 ・長さ: 800mm ・幅: 400mm ・深さ: 130mm		損傷の種類	変形・欠損	損傷程度	e	【前回(H30)点検写真】 変形・欠損-c ・長さ: 350mm ・幅: 450mm ※写真番号431の前回点検写真	
												
	写真番号	433	径間番号	6	前回損傷程度	c	写真番号	434	径間番号	6	前回損傷程度	a
	部材名	沓座モルタル	部材番号	0201	メ モ		部材名	沓座モルタル	部材番号	0202	メ モ	
	損傷の種類	変形・欠損	損傷程度	e	支承部沓座モルタルに鉄筋露出を伴う欠損が見られる。前回(H30)点検調査に写真がないため比較できないが、モルタルの劣化は進行していると思われる。 ・長さ: 700mm ・幅: 500mm ・深さ: 120mm 【その他の損傷】 剥離・鉄筋露出-e		損傷の種類	変形・欠損	損傷程度	e	支承部沓座モルタルに欠損が見られる。新規損傷である。 ・長さ: 700mm ・幅: 400mm ・深さ: 40mm	
												





データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	6	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損傷写真	写真番号	435	径間番号	6	前回損傷程度	e	写真番号	436	径間番号	6	前回損傷程度	e
	部材名	舗装	部材番号	01	メ モ		部材名	舗装	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	路面の凹凸	損傷程度	e	舗装に段差が見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・高さ:30mm ※写真番号436の遠景		損傷の種類	路面の凹凸	損傷程度	e	舗装に段差が見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・高さ:30mm ※写真番号435の近景	
												
	写真番号	437	径間番号	6	前回損傷程度	d	写真番号	438	径間番号	6	前回損傷程度	d
	部材名	防護柵	部材番号	01	メ モ		部材名	防護柵	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d	防護柵にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・幅 : 0.8mm ・間隔: - mm ・長さ: 400mm ・評価区分: 大・小 ※写真番号438の遠景		損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d	防護柵にひびわれが見られる。 前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・幅 : 0.8mm ・間隔: - mm ・長さ: 400mm ・評価区分: 大・小 ※写真番号437の近景	
												

データ記録様式(その10) 損傷写真	径 間 番 号	6	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"			経度		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損 傷 写 真	写真番号	439	径間番号	6	前回損傷程度	d	写真番号	440	径間番号	6	前回損傷程度	d
	部材名	防護柵	部材番号	01	メ モ		部材名	防護柵	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d	防護柵にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・幅：0.3mm ・間隔：－mm ・長さ：400mm ・評価区分：大・小		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	防護柵支柱外面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。 ・長さ：50mm ・幅：100mm ・深さ：10mm ※写真番号441の遠景	
												
	写真番号	441	径間番号	6	前回損傷程度	d	写真番号	442	径間番号	6	前回損傷程度	d
	部材名	防護柵	部材番号	01	メ モ		部材名	防護柵	部材番号	01	メ モ	
損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	防護柵支柱外面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。 ・長さ：50mm ・幅：100mm ・深さ：10mm ※写真番号440の近景		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	防護柵支柱外面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。 ・長さ：400mm ・幅：200mm ・深さ：50mm 【他の損傷】 変形・欠損-c ※写真番号443の遠景		
												



データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	6	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損傷写真	写真番号	443	径間番号	6	前回損傷程度	d	写真番号	444	径間番号	6	前回損傷程度	d
	部材名	防護柵	部材番号	01	メ モ		部材名	防護柵	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	防護柵支柱外面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。 ・長さ: 400mm ・幅: 200mm ・深さ: 50mm 【他の損傷】 変形・欠損-c ※写真番号442の近景		損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d	防護柵にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・幅: 0.7mm ・間隔: - mm ・長さ: 400mm ・評価区分: 大・小 ※写真番号445の遠景	
												
	写真番号	445	径間番号	6	前回損傷程度	d	写真番号	446	径間番号	6	前回損傷程度	d
	部材名	防護柵	部材番号	02	メ モ		部材名	防護柵	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d	防護柵にひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・幅: 0.7mm ・間隔: - mm ・長さ: 400mm ・評価区分: 大・小 ※写真番号444の近景		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	防護柵支柱外面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。 ・長さ: 50mm ・幅: 100mm ・深さ: 0mm ・2箇所 ※写真番号447の遠景	
												

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	6	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損 傷 写 真	写真番号	447	径間番号	6	前回損傷程度	d	写真番号	448	径間番号	6	前回損傷程度	d
	部材名	防護柵	部材番号	02	メ モ		部材名	防護柵	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	防護柵支柱外面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	防護柵笠木下面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。	
				・長さ: 50mm ・幅: 100mm ・深さ: 0mm ・2箇所					・長さ: 50mm ・幅: 50mm ・深さ: 10mm ・3箇所			
				※写真番号446の近景								
	写真番号	449	径間番号	6	前回損傷程度	d	写真番号	450	径間番号	6	前回損傷程度	d
	部材名	防護柵	部材番号	02	メ モ		部材名	防護柵	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	防護柵支柱外面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	e	防護柵支柱外面に鉄筋露出が見られる。鉄筋は著しく腐食している。前回(H30)点検より損傷が進展している。	
			・長さ: 400mm ・幅: 200mm ・深さ: 50mm					・長さ: 400mm ・幅: 200mm ・深さ: 50mm				
			【他の損傷】 変形・欠損-c					【他の損傷】 変形・欠損-c				
			※写真番号450の遠景					※写真番号449の近景				

データ記録様式(その10) 損傷写真	径 間 番 号	6	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
			経度	136° 14' 43.660"	経度		136° 14' 50.579"			

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損傷写真	写真番号	451	径間番号	6	前回損傷程度	e	写真番号	452	径間番号	6	前回損傷程度	c
	部材名	防護柵	部材番号	02	メ モ		部材名	防護柵	部材番号	03	メ モ	
	損傷の種類	うき	損傷程度	e	防護柵支柱外面にうきが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・長さ: 300mm ・幅: 200mm		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	c	防護柵(親柱)に剥離、欠損が見られる。鉄筋の露出は見られない。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・長さ: 700mm ・幅: 800mm ・深さ: 10mm 【その他の損傷】 変形・欠損-c	
												
	写真番号	453	径間番号	6	前回損傷程度	e	写真番号	454	径間番号	6	前回損傷程度	c
	部材名	防護柵	部材番号	03	メ モ		部材名	防護柵	部材番号	04	メ モ	
	損傷の種類	うき	損傷程度	e	防護柵(親柱)にうきが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・長さ: 150mm ・幅: 400mm		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	c	防護柵(親柱)に化粧モルタルの剥離、欠損が見られる。鉄筋の露出は見られない。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・長さ: 600mm ・幅: 150mm ・深さ: 10mm 【その他の損傷】 変形・欠損-c ※写真番号455の別アングル	
												

データ記録様式(その10) 損傷写真				径 間 番 号		6		起 点 側		緯 度		35° 29' 12.628"		終 点 側		緯 度		35° 29' 11.018"		橋 梁 ID		35.48684,136.24546	
フリガナ 橋 梁 名		アメノモリハシ 雨之森橋				路 線 名		雨森高野線		管 理 者		長 浜 市				橋 梁 コード		BR0-252034-01036					
備 考																							

損 傷 写 真	写真番号	455	径間番号	6	前回損傷程度	c	写真番号	456	径間番号	6	前回損傷程度	b
	部材名	防護柵	部材番号	04	メ モ		部材名	地覆	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	c	防護柵(親柱)に化粧モルタルの剥離、欠損が見られる。鉄筋の露出は見られない。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	b	地覆下部にひびわれを伴う遊離石灰が見られる。錆汁の混入は見られない。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
					・長さ: 600mm ・幅 : 150mm ・深さ: 10mm 【その他の損傷】 変形・欠損-c ※写真番号454の別アングル						・幅 : 0.1mm ・間隔: - mm ・長さ: 150mm ・評価区分: 小・小 【その他の損傷】 漏水・遊離石灰-d	
	写真番号	457	径間番号	6	前回損傷程度	ひびわれ-d	写真番号	458	径間番号	6	前回損傷程度	ひびわれ-d
	部材名	伸縮装置	部材番号	02	メ モ		部材名	伸縮装置	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	その他	損傷程度	e	伸縮装置の後打ちコンクリートにひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。損傷種類を変更した。		損傷の種類	その他	損傷程度	e	伸縮装置の後打ちコンクリートにひびわれが見られる。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。損傷種類を変更した。	
					・分類6: その他(後打ちコンクリートのひびわれ) ・幅 : 0.2mm ・間隔: 1200mm ・長さ: 150mm ※写真番号458の遠景						・分類6: その他(後打ちコンクリートのひびわれ) ・幅 : 0.2mm ・間隔: 1200mm ・長さ: 150mm ※写真番号457の近景	

データ記録様式(その10) 損傷写真				径間番号		6		起点側 <table border="1"> <tr> <td>緯度</td> <td>35° 29' 12.628"</td> </tr> <tr> <td>経度</td> <td>136° 14' 43.660"</td> </tr> </table>		緯度	35° 29' 12.628"	経度	136° 14' 43.660"	終点側 <table border="1"> <tr> <td>緯度</td> <td>35° 29' 11.018"</td> </tr> <tr> <td>経度</td> <td>136° 14' 50.579"</td> </tr> </table>		緯度	35° 29' 11.018"	経度	136° 14' 50.579"	橋梁ID	35.48684,136.24546
緯度	35° 29' 12.628"																				
経度	136° 14' 43.660"																				
緯度	35° 29' 11.018"																				
経度	136° 14' 50.579"																				

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損傷写真	写真番号	459	径間番号	6	前回損傷程度	c	写真番号	460	径間番号	6	前回損傷程度	c
	部材名	伸縮装置	部材番号	02	メ モ		部材名	伸縮装置	部材番号	02	メ モ	
	損傷の種類	変形・欠損	損傷程度	a	前回(H30)点検で生じていた後打ちコンクリートの欠損は補修されている。 ※補修済		損傷の種類	変形・欠損	損傷程度	a	【前回(H30)点検時写真】 後打ちコンクリートの欠損 200mm×2700mm×30mm ※写真番号459の前回点検写真	
												
	写真番号	461	径間番号	6	前回損傷程度	b	写真番号	462	径間番号	6	前回損傷程度	b
	部材名	排水ます	部材番号	01	メ モ		部材名	排水ます	部材番号	01	メ モ	
	損傷の種類	腐食	損傷程度	b	排水ますに局所的な腐食が見られる。板厚減少は認められない。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・評価区分: 小・小 【他の損傷】 防食機能の劣化-e ・分類1: 塗装 ※写真番号462の遠景		損傷の種類	腐食	損傷程度	b	排水ますに局所的な腐食が見られる。板厚減少は認められない。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。 ・評価区分: 小・小 【他の損傷】 防食機能の劣化-e ・分類1: 塗装 ※写真番号461の近景	
												

データ記録様式(その10) 損傷写真	径間番号	6	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋梁名	アメノモリハシ 雨之森橋	路線名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
備考							

損傷写真	写真番号	463	径間番号	6	前回損傷程度	c	写真番号	464	径間番号	6	前回損傷程度	c
	部材名	排水管	部材番号	03	メ モ		部材名	排水管	部材番号	03	メ モ	
	損傷の種類	腐食	損傷程度	c	排水管全体に腐食が見られる。板厚減少は認められない。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。		損傷の種類	腐食	損傷程度	c	排水管全体に腐食が見られる。板厚減少は認められない。前回(H30)点検より損傷の進展は見られない。	
					・評価区分:小・大 【他の損傷】 防食機能の劣化-e ・分類1:塗装 ※写真番号464の遠景						・評価区分:小・大 【他の損傷】 防食機能の劣化-e ・分類1:塗装 ※写真番号463の近景	
	写真番号		径間番号		前回損傷程度		写真番号		径間番号		前回損傷程度	
	部材名		部材番号		メ モ		部材名		部材番号		メ モ	
	損傷の種類		損傷程度				損傷の種類		損傷程度			

データ記録様式(その13) 損傷程度の評価結果総括					径 間 番 号		1		起点側		緯度		35° 29' 12.628"		終点側		緯度		35° 29' 11.018"		橋梁ID		35.48684,136.24546	
フリガナ 橋 梁 名		アメノモリハシ 雨之森橋			路 線 名		雨森高野線			管理者		長浜市				橋梁コード		BR0-252034-01036						
工 種	材 料	部材種別			今回定期点検		点検日		2021年10月13日		前回定期点検		点検日		2018年11月22日									
		名称	記号	部材番号	損傷の種類(程度)				損傷の種類(程度)															
S	C	主桁	Mg	01	ひびわれ(d(4)),剥離・鉄筋露出(e)				ひびわれ(d(4)),剥離・鉄筋露出(d)															
S	C	主桁	Mg	02	ひびわれ(d(4)),剥離・鉄筋露出(e)				ひびわれ(d(4)),剥離・鉄筋露出(d)															
S	C	横桁	Cr	01	剥離・鉄筋露出(d)				剥離・鉄筋露出(d)															
S	C	横桁	Cr	05	剥離・鉄筋露出(e)				剥離・鉄筋露出(d)															
S	C	床版	Ds	00	剥離・鉄筋露出(e),漏水・遊離石灰(d),その他1(e)				剥離・鉄筋露出(d),漏水・遊離石灰(d),その他(e)															
S	C	PC定着部	Cn	01	ひびわれ(d(16)),剥離・鉄筋露出(d),定着部の異常2(c(1,3))				ひびわれ(c(16)),剥離・鉄筋露出(d),定着部の異常(c(1,3))															
S	C	PC定着部	Cn	02	ひびわれ(d(16)),剥離・鉄筋露出(d),漏水・遊離石灰(d),定着部の異常2(c(1,2,3))				ひびわれ(d(16)),剥離・鉄筋露出(d),漏水・遊離石灰(d),定着部の異常(c(1,2,3))															
A	C	縦壁	Ac	01	ひびわれ(b(1)),土砂詰まり(e),漏水・滞水(e)				ひびわれ(b(1)),土砂詰まり(e),漏水・滞水(e)															
P	C	柱部・壁部	Pw	02	ひびわれ(c(2,7)),漏水・滞水(e)				ひびわれ(c(2)),漏水・滞水(e)															
P	C	梁部	Pb	02	ひびわれ(d(7)),剥離・鉄筋露出(e),漏水・遊離石灰(d)				ひびわれ(d(7)),剥離・鉄筋露出(d),漏水・遊離石灰(d),漏水・滞水(e)															
P	S	梁部	Pb	02	腐食(d),防食機能の劣化1(e),補修・補強材の損傷1(c)				腐食(d),防食機能の劣化(e)															
B	S	支承本体	Bh	00	腐食(c),防食機能の劣化1(e)				腐食(d),防食機能の劣化(e)															
B	S	アンカーボルト	Ba	00	腐食(c),防食機能の劣化1(e)				腐食(d),防食機能の劣化(e)															
B	C	沓座モルタル	Bm	00	剥離・鉄筋露出(c),うき(e)				ひびわれ(e)															
R	C	防護柵	Gf	00	ひびわれ(d),剥離・鉄筋露出(e),うき(e),その他6(e),変形・欠損(c)				ひびわれ(d),剥離・鉄筋露出(d),うき(e),その他(e),変形・欠損(c)															

橋梁ID	35.48684,136.24546
------	--------------------

橋梁コード	BR0-252034-01036
-------	------------------

[illegible]

データ記録様式(その13) 損傷程度の評価結果総括			径 間 番 号	2	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
						経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

工種	材料	部材種別			今回定期点検	点検日	2021年10月13日	前回定期点検	点検日	2018年11月22日
		名称	記号	部材番号	損傷の種類(程度)			損傷の種類(程度)		
S	C	主桁	Mg	01	ひびわれ(d(4)),剥離・鉄筋露出(e),変形・欠損(c)			ひびわれ(d(4)),剥離・鉄筋露出(d),変形・欠損(c)		
S	C	主桁	Mg	02	ひびわれ(d(19)),剥離・鉄筋露出(e)			ひびわれ(d(21)),剥離・鉄筋露出(d)		
S	C	横桁	Cr	01	ひびわれ(d(24)),剥離・鉄筋露出(d)			ひびわれ(d(24)),剥離・鉄筋露出(d)		
S	C	横桁	Cr	05	ひびわれ(d(24))			ひびわれ(d(24))		
S	C	床版	Ds	00	剥離・鉄筋露出(e),漏水・遊離石灰(d),床版ひびわれ(d(2))			剥離・鉄筋露出(d),漏水・遊離石灰(d),床版ひびわれ(d(1,2))		
S	C	PC定着部	Cn	01	剥離・鉄筋露出(d),定着部の異常2(c(3))			剥離・鉄筋露出(d),定着部の異常(c(3))		
S	C	PC定着部	Cn	02	剥離・鉄筋露出(d),定着部の異常2(c(3))			剥離・鉄筋露出(d),定着部の異常(c(3))		
P	C	下部工(梁部)	Pb	02	ひびわれ(c(7)),剥離・鉄筋露出(e),その他6(e)			ひびわれ(c(7)),剥離・鉄筋露出(d),漏水・遊離石灰(e),うき(e),その他(e)		
P	S	下部工(梁部)	Pb	02	腐食(c),防食機能の劣化1(e),補修・補強材の損傷1(c)			腐食(c),防食機能の劣化(e)		
B	S	支承本体	Bh	00	腐食(e),防食機能の劣化1(e),支承部の機能障害1(e(1,5,6)),沈下・移動・傾斜(e)			腐食(d),防食機能の劣化(e)		
B	S	アンカーボルト	Ba	00	腐食(e),破断(e),防食機能の劣化1(e)			腐食(d),防食機能の劣化(e)		
B	C	沓座モルタル	Bm	00	剥離・鉄筋露出(e),変形・欠損(e)			剥離・鉄筋露出(d),変形・欠損(c)		
R	C	防護柵	Gf	00	ひびわれ(d),剥離・鉄筋露出(d),その他6(e),変形・欠損(c)			ひびわれ(d),剥離・鉄筋露出(d),うき(e),その他(e)		
R	C	伸縮装置	Ej	00	その他6(e),変形・欠損(c) ※前回ひびわれはその他6に変更。			ひびわれ(d),剥離・鉄筋露出(c),変形・欠損(c)		
D	S	排水ます	Dr	00	腐食(c),防食機能の劣化1(e)			腐食(c),防食機能の劣化(e)		

データ記録様式(その13) 損傷程度の評価結果総括	径 間 番 号	2	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

[illegible]

データ記録様式(その13) 損傷程度の評価結果総括					径 間 番 号		3		起点側		緯度		35° 29' 12.628"		終点側		緯度		35° 29' 11.018"		橋梁ID		35.48684,136.24546		
												経度		136° 14' 43.660"				経度		136° 14' 50.579"					
フリガナ 橋 梁 名		アメノモリハシ 雨之森橋					路 線 名		雨森高野線			管理者		長浜市				橋梁コード		BR0-252034-01036					
工種	材料	部材種別			今回定期点検		点検日		2021年10月13日			前回定期点検			点検日		2018年11月22日								
		名称	記号	部材番号	損傷の種類(程度)						損傷の種類(程度)														
S	C	主桁	Mg	01	剥離・鉄筋露出(e)						剥離・鉄筋露出(d)														
S	C	主桁	Mg	02	ひびわれ(d(21)),剥離・鉄筋露出(e),変形・欠損(c)						ひびわれ(d(21)),剥離・鉄筋露出(d),変形・欠損(c)														
S	C	横桁	Cr	01	ひびわれ(d(24))						ひびわれ(d(24))														
S	C	床版	Ds	00	剥離・鉄筋露出(e),漏水・遊離石灰(d),床版ひびわれ(d(1)),その他6(e)						剥離・鉄筋露出(d),漏水・遊離石灰(d),床版ひびわれ(d(1)),その他(e)														
S	C	PC定着部	Cn	01	ひびわれ(d(16)),剥離・鉄筋露出(e),定着部の異常2(c(1,3))						ひびわれ(d(16)),剥離・鉄筋露出(d),定着部の異常(c(1,3))														
S	C	PC定着部	Cn	02	ひびわれ(d(16)),剥離・鉄筋露出(e),定着部の異常2(c(1,3))						ひびわれ(d(16)),剥離・鉄筋露出(d),定着部の異常(c(1,3))														
P	C	下部工(梁部)	Pb	02	ひびわれ(e(7))						ひびわれ(e(7))														
P	S	下部工(梁部)	Pb	02	腐食(c),防食機能の劣化1(e),補修・補強材の損傷1(c)						腐食(c),防食機能の劣化(e)														
B	S	支承本体	Bh	00	腐食(e),防食機能の劣化1(e)						腐食(d),防食機能の劣化(e)														
B	S	アンカーボルト	Ba	00	腐食(d),防食機能の劣化1(e)						腐食(d),防食機能の劣化(e)														
R	C	防護柵	Gf	00	ひびわれ(d),剥離・鉄筋露出(d),変形・欠損(c)						ひびわれ(d),剥離・鉄筋露出(d)														
R	C	地覆	Fg	00	剥離・鉄筋露出(d),うき(e)						剥離・鉄筋露出(d),うき(e)														
R	S	伸縮装置	Ej	00	腐食(b),防食機能の劣化1(e)						腐食(b),防食機能の劣化(e)														
D	S	排水ます	Dr	00	腐食(b),防食機能の劣化1(e)						腐食(b),防食機能の劣化(e)														
D	S	排水管	Dp	00	腐食(d),防食機能の劣化1(e)						腐食(d),防食機能の劣化(e)														

データ記録様式(その13) 損傷程度の評価結果総括			径 間 番 号	4	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
						経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

工種	材料	部材種別			今回定期点検	点検日	2021年10月13日	前回定期点検	点検日	2018年11月22日
		名称	記号	部材番号	損傷の種類(程度)			損傷の種類(程度)		
S	C	主桁	Mg	01	剥離・鉄筋露出(e)			剥離・鉄筋露出(d)		
S	C	主桁	Mg	02	剥離・鉄筋露出(e)			剥離・鉄筋露出(d)		
S	C	床版	Ds	00	剥離・鉄筋露出(e),漏水・遊離石灰(d),床版ひびわれ(d(1))			剥離・鉄筋露出(d),漏水・遊離石灰(d),床版ひびわれ(d(1))		
S	C	PC定着部	Cn	01	ひびわれ(d(16)),剥離・鉄筋露出(d),定着部の異常2(c(1,3))			剥離・鉄筋露出(d),定着部の異常(c(3))		
S	C	PC定着部	Cn	02	ひびわれ(d(16)),剥離・鉄筋露出(d),定着部の異常2(c(1,3))			ひびわれ(d(16)),剥離・鉄筋露出(d),定着部の異常(c(1,3))		
P	C	下部工(梁部)	Pb	02	ひびわれ(d(7)),剥離・鉄筋露出(e)			ひびわれ(d(7)),剥離・鉄筋露出(d)		
P	S	下部工(梁部)	Pb	02	腐食(c),防食機能の劣化1(e),補修・補強材の損傷1(c)			腐食(c),防食機能の劣化(e)		
B	S	支承本体	Bh	00	腐食(c),防食機能の劣化1(e)			腐食(d),防食機能の劣化(e)		
B	S	アンカーボルト	Ba	00	腐食(d),防食機能の劣化1(e)			腐食(d),防食機能の劣化(e)		
B	C	沓座モルタル	Bm	00	変形・欠損(e),うき(e)			剥離・鉄筋露出(c),変形・欠損(c)		
R	C	防護柵	Gf	00	ひびわれ(d),剥離・鉄筋露出(d),変形・欠損(c)			ひびわれ(d),剥離・鉄筋露出(d),うき(e),変形・欠損(c)		
R	C	地覆	Fg	00	うき(e),剥離・鉄筋露出(d)			剥離・鉄筋露出(d),漏水・遊離石灰(d),うき(e)		
R	C	伸縮装置	Ej	00	その他4(e),その他6(e) ※前回ひびわれはその他6に変更。			ひびわれ(c),その他4(e)		
D	S	排水ます	Dr	00	腐食(c),防食機能の劣化1(e)			腐食(b),防食機能の劣化(e)		
D	S	排水管	Dp	00	腐食(e),防食機能の劣化1(e)			腐食(c),防食機能の劣化(e)		

データ記録様式(その13) 損傷程度の評価結果総括			径 間 番 号	5	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
						経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

工種	材料	部材種別			今回定期点検	点検日	2021年10月13日	前回定期点検	点検日	2018年11月22日
		名称	記号	部材番号	損傷の種類(程度)			損傷の種類(程度)		
S	C	主桁	Mg	01	ひびわれ(d(2,21,23)),剥離・鉄筋露出(e)			ひびわれ(d(2,23)),剥離・鉄筋露出(d),その他(e)		
S	C	主桁	Mg	02	ひびわれ(d(2,21,23)),剥離・鉄筋露出(e)			ひびわれ(d(3,21,23)),剥離・鉄筋露出(d)		
S	C	横桁	Cr	01	ひびわれ(e(24)),漏水・遊離石灰(d)			ひびわれ(e(24)),漏水・遊離石灰(d)		
S	C	横桁	Cr	05	漏水・遊離石灰(d)			漏水・遊離石灰(d)		
S	C	床版	Ds	00	剥離・鉄筋露出(e),漏水・遊離石灰(d),床版ひびわれ(d(1))			剥離・鉄筋露出(d),漏水・遊離石灰(d),床版ひびわれ(d(1))		
S	C	PC定着部	Cn	01	ひびわれ(d(16)),剥離・鉄筋露出(e),漏水・遊離石灰(d),定着部の異常2(c(1,2,3))			ひびわれ(d(16)),剥離・鉄筋露出(d),漏水・遊離石灰(c),定着部の異常(c(1,2,3))		
S	C	PC定着部	Cn	02	ひびわれ(d(16)),剥離・鉄筋露出(e),定着部の異常2(c(1,3))			ひびわれ(d(16)),剥離・鉄筋露出(d),定着部の異常(c(1,3))		
P	C	下部工(梁部)	Pb	02	ひびわれ(d(7))			ひびわれ(d(7)),その他(e)		
P	S	下部工(梁部)	Pb	02	腐食(c),防食機能の劣化1(e),補修・補強材の損傷1(c))			腐食(c),防食機能の劣化(e)		
B	S	支承本体	Bh	00	腐食(c),防食機能の劣化1(e)			腐食(c),防食機能の劣化(e)		
B	S	アンカーボルト	Ba	00	腐食(c),防食機能の劣化1(e)			腐食(c),防食機能の劣化(e)		
B	C	沓座モルタル	Bm	00	変形・欠損(e)			記載なし		
R	C	舗装	Pm	00	舗装の異常(c(1))			舗装の異常(c)		
R	C	防護柵	Gf	00	ひびわれ(d),剥離・鉄筋露出(e),うき(e),変形・欠損(c)			ひびわれ(d),剥離・鉄筋露出(d),うき(e),変形・欠損(c)		
R	C	地覆	Fg	00	剥離・鉄筋露出(e)			剥離・鉄筋露出(d)		

データ記録様式(その13) 損傷程度の評価結果総括	径 間 番 号	5	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"			経度		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

[illegible]

データ記録様式(その13) 損傷程度の評価結果総括			径 間 番 号	6	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
						経度	136° 14' 43.660"		経度	136° 14' 50.579"		

フリガナ 橋 梁 名	アメモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

工種	材料	部材種別			今回定期点検	点検日	2021年10月13日	前回定期点検	点検日	2018年11月22日
		名称	記号	部材番号	損傷の種類(程度)			損傷の種類(程度)		
S	C	主桁	Mg	01	ひびわれ(d(4)),剥離・鉄筋露出(e)			ひびわれ(d(4)),その他(e)		
S	C	主桁	Mg	02	ひびわれ(d(4)),剥離・鉄筋露出(e)			ひびわれ(d(4)),剥離・鉄筋露出(d)		
S	C	横桁	Cr	01	ひびわれ(d(24)),剥離・鉄筋露出(d)			ひびわれ(d(24)),剥離・鉄筋露出(d)		
S	C	横桁	Cr	02	剥離・鉄筋露出(e)			剥離・鉄筋露出(d)		
S	C	横桁	Cr	05	ひびわれ(c(24)),剥離・鉄筋露出(e)			ひびわれ(c(24)),剥離・鉄筋露出(d)		
S	C	床版	Ds	00	剥離・鉄筋露出(e),漏水・遊離石灰(d),床版ひびわれ(d(1)),その他6(e)			剥離・鉄筋露出(d),漏水・遊離石灰(d),床版ひびわれ(d(1)),その他(e)		
S	C	PC定着部	Cn	01	ひびわれ(d(16)),剥離・鉄筋露出(e),漏水・遊離石灰(d),定着部の異常2(c(1,2,3))			剥離・鉄筋露出(d),漏水・遊離石灰(d),定着部の異常(c(2,3))		
S	C	PC定着部	Cn	02	ひびわれ(d(16)),剥離・鉄筋露出(e),定着部の異常2(c(1,3))			ひびわれ(d(16)),剥離・鉄筋露出(d),定着部の異常(c(1,3))		
A	C	胸壁	Ap	02	剥離・鉄筋露出(e)			剥離・鉄筋露出(d)		
A	C	豎壁	Ac	02	その他1(e),土砂詰まり(e)			その他(e),土砂詰まり(e)		
B	S	支承本体	Bh	00	腐食(c),防食機能の劣化1(e)			腐食(d),防食機能の劣化(e)		
B	S	アンカーボルト	Ba	00	腐食(c),防食機能の劣化1(e)			腐食(d),防食機能の劣化(e)		
B	C	沓座モルタル	Bm	00	剥離・鉄筋露出(e),変形・欠損(e)			剥離・鉄筋露出(c),変形・欠損(c)		
R	C	舗装	Pm	00	路面の凹凸(e)			路面の凹凸(e)		
R	C	防護柵	Gf	00	ひびわれ(d),剥離・鉄筋露出(e),うき(e),変形・欠損(c)			ひびわれ(d),剥離・鉄筋露出(d),うき(e),変形・欠損(c)		

データ記録様式(その13) 損傷程度の評価結果総括	径 間 番 号	6	起点側	緯度	35° 29' 12.628"	終点側	緯度	35° 29' 11.018"	橋梁ID	35.48684,136.24546
				経度	136° 14' 43.660"			経度		

フリガナ 橋 梁 名	アメノモリハシ 雨之森橋	路 線 名	雨森高野線	管理者	長浜市	橋梁コード	BR0-252034-01036
---------------	-----------------	-------	-------	-----	-----	-------	------------------

[illegible]